

医療創生大学
「学修行動調査 2020」調査報告書

教務委員会

目次

2020年度 学修行動調査報告	1
-----------------	---

大学における学習状況について（全学部）

設問2（1）	2
設問2（2）	5
設問2（3）	8
設問2（3） バブルグラフ	11
設問2（4）	12

「学修行動調査2020」 教養学部の考察 16

大学における学習状況について（教養学部）

設問2（1）	18
設問2（2）	21
設問2（3）	24
設問2（3） バブルグラフ	27
設問2（4）	28

「学修行動調査2020」 薬学部の考察 32

大学における学習状況について（薬学部）

設問2（1）	35
設問2（2）	37
設問2（3）	39
設問2（3） バブルグラフ	41
設問2（4）	42

「学修行動調査2020」 看護学部の考察 45

大学における学習状況について（看護学部）

設問2（1）	48
設問2（2）	51
設問2（3）	54
設問2（3） バブルグラフ	57
設問2（4）	58

大学における学習状況について（健康医療科学部）

設問2（1）	62
設問2（2）	65
設問2（3）	68
設問2（3） バブルグラフ	71
設問2（4）	72

「学修行動調査2020」 健康医療科学部作業療法学科の考察 76

大学における学習状況について（作業療法学科）

設問2（1）	79
設問2（2）	82
設問2（3）	85
設問2（3） バブルグラフ	88
設問2（4）	89

「学修行動調査2020」 健康医療科学部理学療法学科の考察 93

大学における学習状況について（理学療法学科）

設問2（1）	96
設問2（2）	99
設問2（3）	102
設問2（3） バブルグラフ	105
設問2（4）	106

「学修行動調査2020」 心理学部の考察 110

大学における学習状況について（心理学部）

設問2（1）	112
設問2（2）	115
設問2（3）	118
設問2（3） バブルグラフ	121
設問2（4）	122

【付録】

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：全学部） 127

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：薬学部） 130

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：看護学部） 133

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：健康医療科学部） . . . 136

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：作業療法学科） 139

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：理学療法学科） 142

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ：心理学部） 145

2020 年度学修行動調査報告

教務委員会

委員長 菊池雄士

本学アセスメント・ポリシーに基づく学生調査の一環として、下記のように 2020 年度学修行動調査を実施した。なお、本学では「学生調査の実施に関する方針」の中で、学修行動調査を次のように位置づけている。

学修行動調査

学生の主体的な学修時間を実質的に増加させ、学びの成果につなげること、学びの成果を実質化することを目的とし、学生の学びの実態を把握する。なお新入生調査および上級生調査により、「生涯学び続け、主体的に考える力」を意味する主体的な学修態度が醸成されるよう、現状の分析と推移を検証し、学士課程教育の改善をはかるための基礎資料とする。

【調査の概要】

調査対象：

教養学部 3・4 年生、薬学部 1・4・6 年生、看護学部 1・3・4 年生、健康医療科学部 1 年生、
心理学部 1 年生

調査項目：1. 大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ）

2. 大学における学修状況について

回答方法：manab@ISU を利用

実施期間：2020 年 10 月 12 日～2020 年 11 月 20 日

回 答 率：59.7%

得られた結果を「学士課程教育の改善」に役立てていくには多面的・継続的な解析作業が必要である。教務委員会では、4 つの調査項目のうち、「2. 大学における就学状況」（授業での学修経験、授業内外における学修行動、正課内外の活動に費やす時間、入学後の知識・能力の変化についての質問）に対する回答に注目し、調査結果を学部ごとに解析することにより、各学部生の特色や学部ごとの問題の所在を明らかにする試みを行った。その結果を以下に掲載する。考察は、学部独自の課題の抽出から学部間の比較に基づく他学部への提言に及んでいる。毎年、定期的に行われる本調査が本学の学生指導をより効果的なものにするために役に立つことを願うものである。

2. 大学における学習状況について（全学部）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

1. ひんぱんにあった	61	15.68%
2. ときどきあった	216	55.53%
3. あまりなかった	96	24.68%
4. まったくなかった	16	4.11%
合計	389	100.00%

H. 学生が自分の考えや研究を発表する

1. ひんぱんにあった	94	24.16%
2. ときどきあった	212	54.50%
3. あまりなかった	69	17.74%
4. まったくなかった	14	3.60%
合計	389	100.00%

I. 授業中に学生同士が議論をする

1. ひんぱんにあった	135	34.62%
2. ときどきあった	199	51.03%
3. あまりなかった	41	10.51%
4. まったくなかった	15	3.85%
合計	390	100.00%

J. 授業で検討するテーマを学生が設定する

1. ひんぱんにあった	37	9.49%
2. ときどきあった	143	36.67%
3. あまりなかった	135	34.62%
4. まったくなかった	75	19.23%
合計	390	100.00%

K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

1. ひんぱんにあった	27	6.94%
2. ときどきあった	181	46.53%
3. あまりなかった	136	34.96%
4. まったくなかった	45	11.57%
合計	389	100.00%

L. 取りたい授業を履修登録できなかった

1. ひんぱんにあった	8	2.06%
2. ときどきあった	75	19.28%
3. あまりなかった	97	24.94%
4. まったくなかった	209	53.73%
合計	389	100.00%

M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した

1. ひんぱんにあった	11	2.84%
2. ときどきあった	65	16.75%
3. あまりなかった	146	37.63%
4. まったくなかった	166	42.78%
合計	388	100.00%

H. 授業に遅刻した

1. ひんぱんにあった	5	1.30%
2. ときどきあった	58	15.03%
3. あまりなかった	127	32.90%
4. まったくなかった	196	50.78%
合計	386	100.00%

I. 授業をつまらなく感じた

1. ひんぱんにあった	47	12.14%
2. ときどきあった	222	57.36%
3. あまりなかった	96	24.81%
4. まったくなかった	22	5.68%
合計	387	100.00%

J. 授業中に居眠りをした

1. ひんぱんにあった	34	8.79%
2. ときどきあった	165	42.64%
3. あまりなかった	119	30.75%
4. まったくなかった	69	17.83%
合計	387	100.00%

K. 教員の研究プロジェクトに参加した

1. ひんぱんにあった	6	1.55%
2. ときどきあった	34	8.79%
3. あまりなかった	91	23.51%
4. まったくなかった	256	66.15%
合計	387	100.00%

L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した

1. ひんぱんにあった	21	5.41%
2. ときどきあった	49	12.63%
3. あまりなかった	98	25.26%
4. まったくなかった	220	56.70%
合計	388	100.00%

M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

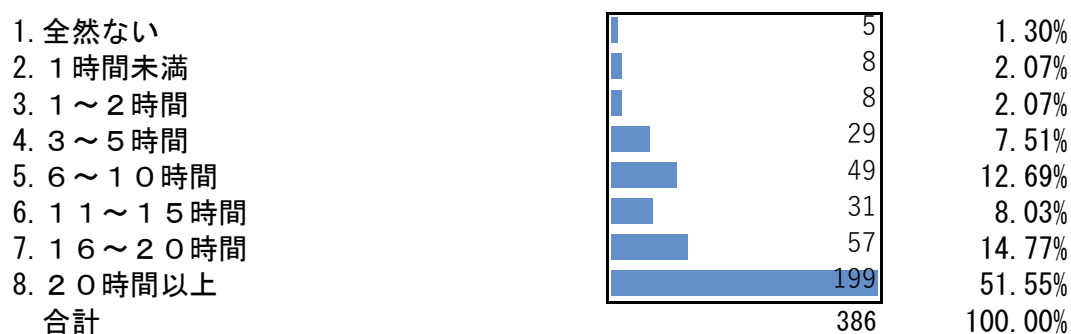


N. 教員に親近感を感じた

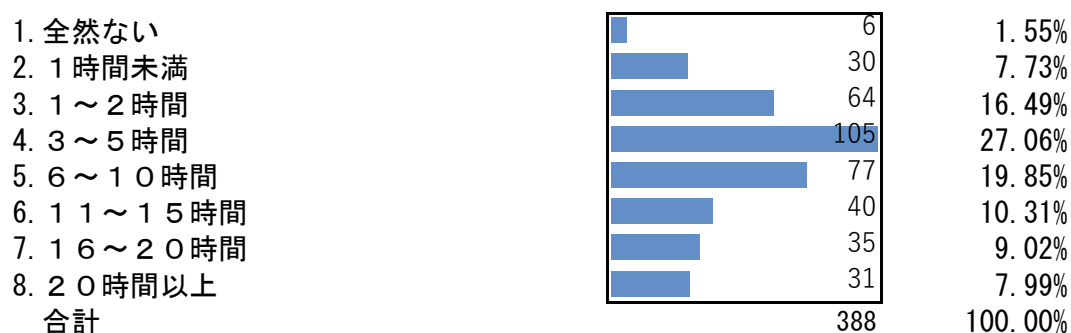


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

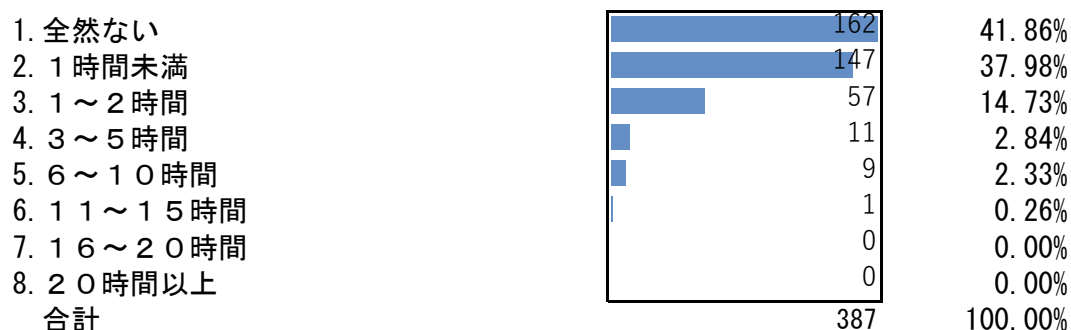
A. 授業や実験に出る



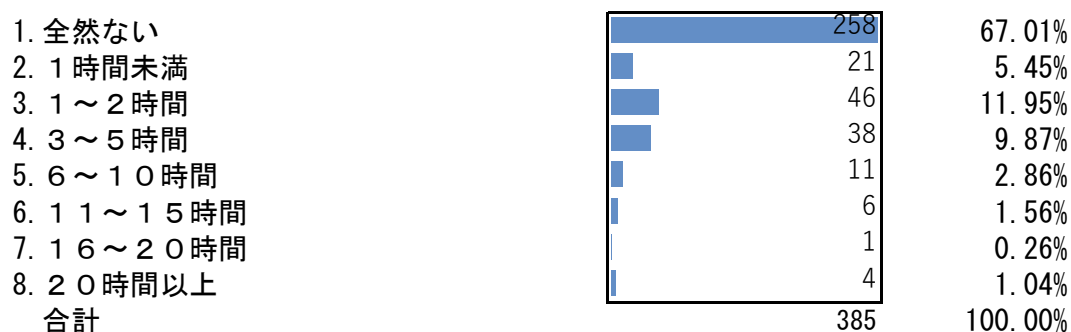
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



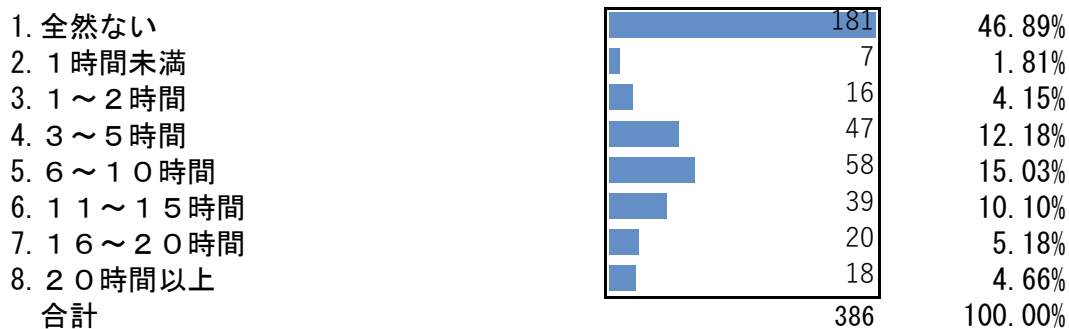
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



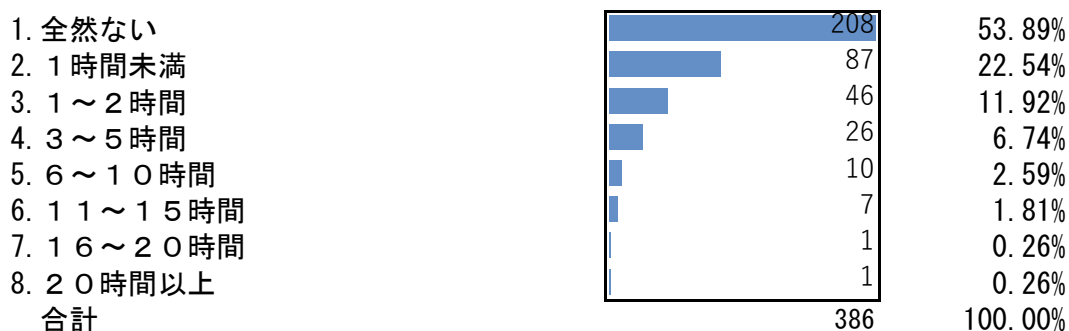
D. 部活動や同好会に参加する



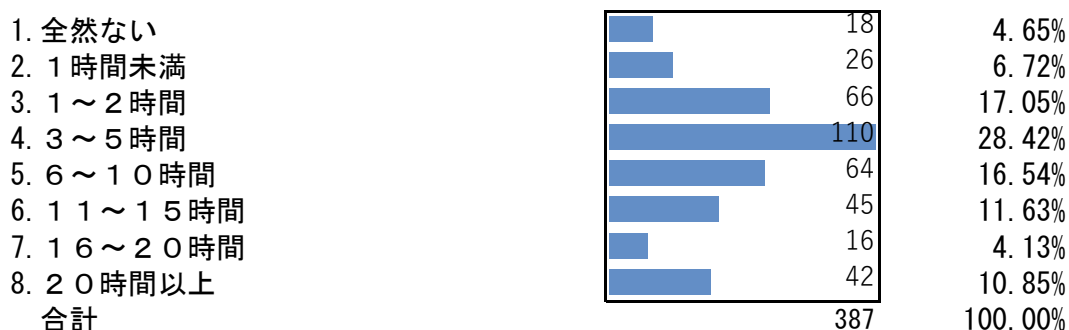
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



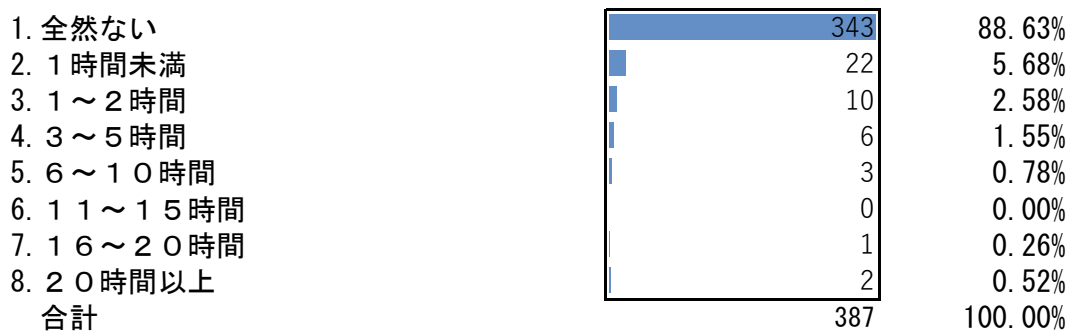
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



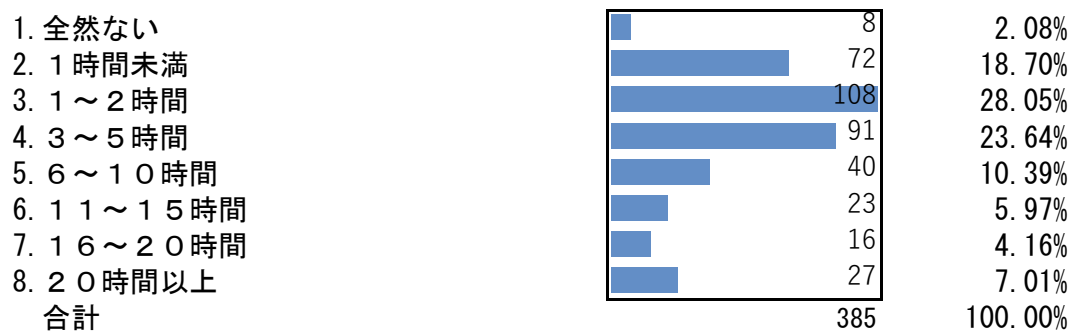
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

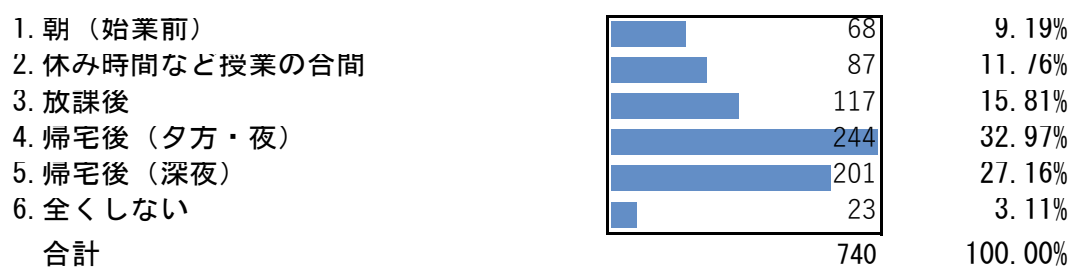


I. メール、Facebook、LINE等の利用



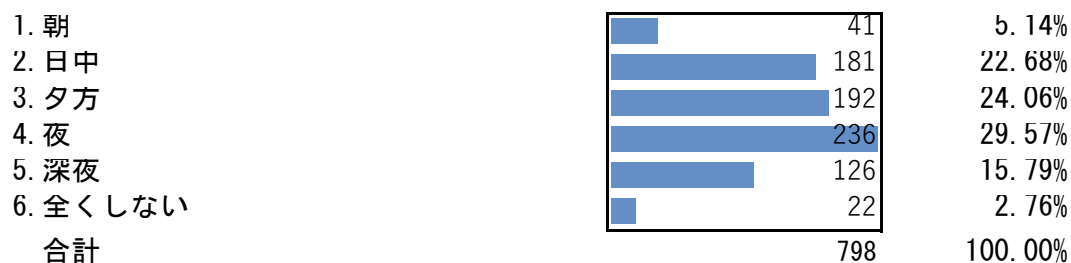
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

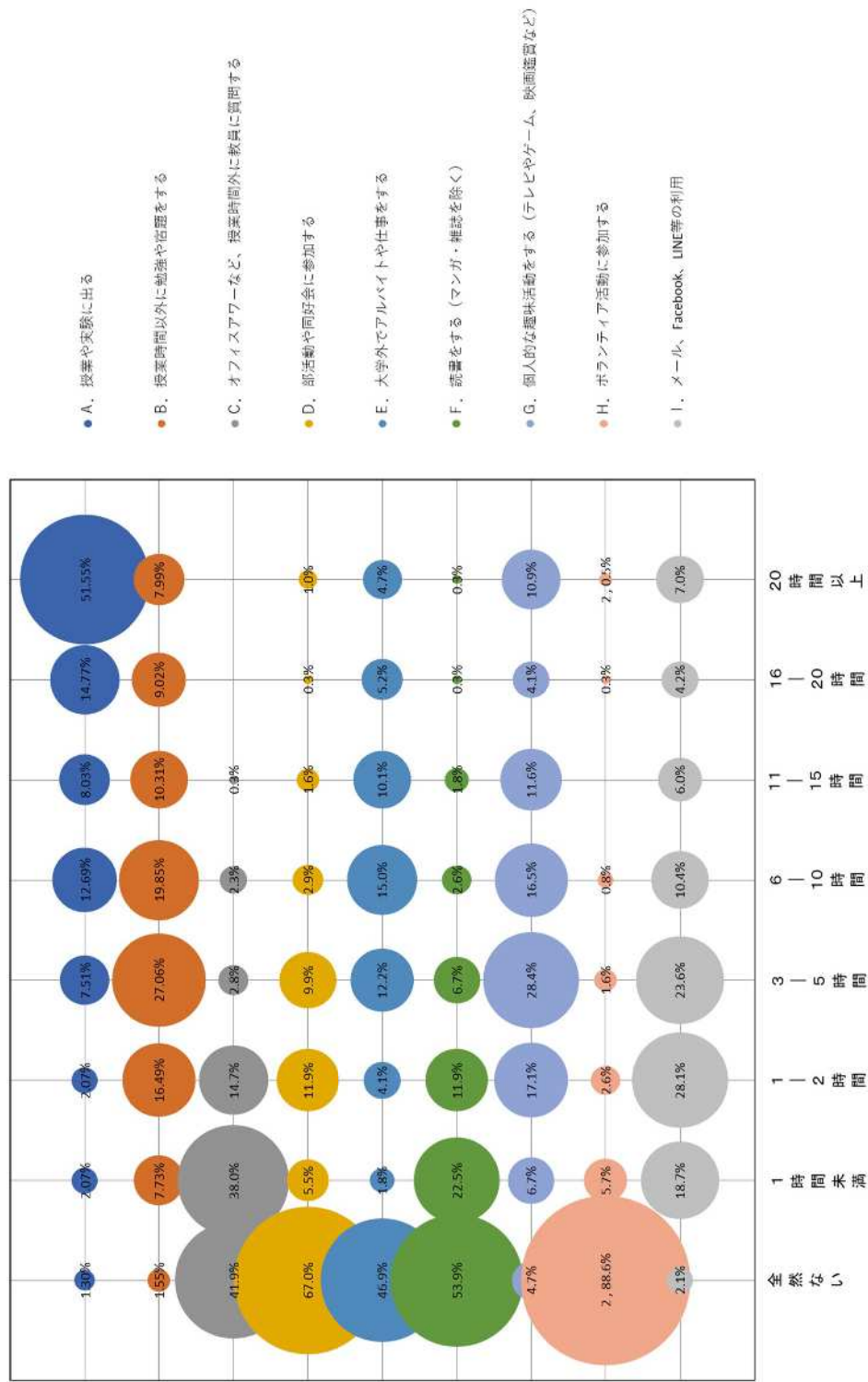


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりのどれくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	11	2.85%
2. 増えた	90	23.32%
3. 変化なし	240	62.18%
4. 減った	29	7.51%
5. 大きく減った	16	4.15%
合計	386	100.00%

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	60	15.50%
2. 増えた	196	50.65%
3. 変化なし	121	31.27%
4. 減った	7	1.81%
5. 大きく減った	3	0.78%
合計	387	100.00%

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	39	10.10%
2. 増えた	176	45.60%
3. 変化なし	163	42.23%
4. 減った	5	1.30%
5. 大きく減った	3	0.78%
合計	386	100.00%

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	17	4.40%
2. 増えた	113	29.27%
3. 変化なし	230	59.59%
4. 減った	19	4.92%
5. 大きく減った	7	1.81%
合計	386	100.00%

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	73	18.91%
2. 増えた	206	53.37%
3. 変化なし	103	26.68%
4. 減った	3	0.78%
5. 大きく減った	1	0.26%
合計	386	100.00%

R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた	41	10.59%
2. 増えた	201	51.94%
3. 変化なし	127	32.82%
4. 減った	15	3.88%
5. 大きく減った	3	0.78%
合計	387	100.00%

S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



教養学部の考察

教養学部・心理学部カリキュラム委員会 IR 班

はじめに

教養学部の募集停止に伴い、今回の調査対象となったのは、3年生のみである。想定される回答者 80 名の内、全項目について回答を行っているのは 25 名にとどまり、回答率は 3 割程度である。したがって、今回のデータについては代表性について疑問が残る。以降、項目ごとの度数分布に従って考察を加えるが、(1) 学部の多数派 (7 割程度) の学生は別の傾向であること、つまり (2) 回答を行った学生たち特有の傾向がある可能性があること (与えられた課題に誠実に対応する傾向や、反対に、不満を抱えた学生がはげ口として、事実にもとづかない回答を行っている傾向) には注意を払う必要がある。

結果の解釈に当たっては、「(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会は何のくらいありましたか」と「(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか」については、「1. ひんぱんにあった」と「2. ときどきあった」を合算し、「あった」と捉え、全学部との見在目上の数値の比較を行うこととした。また、「(3) 入学以来、あなたは次の活動に 1 週間あたりどのくらい時間を費やしましたか」については、バブルグラフに図示された最頻値に着目した。さらに、「(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか」については、「1. 大きく増えた」と「2. 増えた」を合算し、「増えた」と捉え、全学部との見在目上の数値の比較を行うこととした。

(1) 受講した授業での経験について

多くの項目で、全学部の値を下回っているが、これは、学問上の特質によるものと考えられる。頻繁に病院等での実習を行っている他学部と比較して、教養学部では実習の機会が少ない。また、特定職種の養成のみを目的としていないため、職業に直結した知識やスキルを学ぶ機会は、相対的には少なく、日常生活との関わりについても説明しづらい。ただし、相対的には低い、「日常生活の関わりについての説明」について、7 割を超える回答が「あった」となっている。科目により多様な教育が行われており、選択しているメジャーによっては、社会や日常といったことが強く意識された教育内容となっていることが考えられる。定期テストについても、国家試験が意識され、絶えず暗記力が試される他学部とは異なり、自分自身の意見が尊重される教養学部においては、他学部に比べて実施率が低いと考えられる (ただし、「定期テスト・小テスト」の項目の肯定率は 8 割を超えている)。学生自身が文献や資料を調べる機会や、学生が自分の考えや研究を発表する機会は多い。また、提出物は添削やコメントがつけられて返却され、授業の進め方に学生の意見が取り入れられることもあまり多くはないが、全学部よりはみられる。これらの点からも、学生の意見が尊重される学習環境にあることがうかがえる。ただし、学生同士が議論する機会や検討するテーマを

学生が設定することについては少ない。教員が設定した問いに対して、授業進行上、意見表出が求められているだけである可能性も考えられる。「取りたい授業を履修登録できなかった」学生が全学部の結果よりも多く、3割近くいたことは、募集停止に伴い、科目の年度休講が相次いだことを反映した結果である。

(2) 授業や授業以外の学習について

多くの項目で、全学部の値を上回っていた。唯一下回ったのは、「授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした」である。全学部の値は8割半ばであるのに対して、教養学部では7割半ばである。試験に向けて一緒に勉強することがあまりないのかもしれない。やはり、他学部と比較しての定期テストの少なさに起因すると考えることができる。他方、資料収集に図書館を利用し、インターネットも活用し、課題提出も行う機会が相対的に多い。主体性に任されるため、提出期限までに授業課題を完成できなかったことも多くなっており、授業の欠席、遅刻、授業中の居眠りも多い。授業内容をつまらなく感じている学生も多い。この傾向は、調査が面倒だからと回避した未回答者群でさらに顕著である可能性がある。2割程度ながら、教員の考え方や意見に意義を唱えた者がいるほど、教員にものが言いやすい環境は整っており、キャリアの相談をする機会も、他学部に比べて多い。また、教員に親近感を感じた割合は、7割を超える（全学部では5割半ば）。自主的な勉強会に参加する機会も相対的に多い。やはり、「自主的」がキーワードとなる。

(3) 活動についての時間配分について

授業や実験への参加は少ない。また、勉強や宿題をする時間も少ない。アルバイトや仕事をする時間は多い。3年生のみが回答者であったこともあり、(1) 単位取得は卒業要件を満たすには十分であり、勉強以外の活動に時間を費やしている、(2) そもそも、他学部に比して勉強しない傾向があるという、2つの可能性が考えられる。

(4) 能力や知識についての入学した時点との変化

全学部の値を下回ったのは「専門分野や学科の知識」、「コミュニケーション能力」、「数理的な能力」の3項目である。「専門分野の知識」については、8割を超える学生が「増えた」と答えているが、「コミュニケーション能力」では6割程度、「数理的な能力」にいたっては3割程度である。しかしながら、コミュニケーション能力については「減った」と答えた者はおらず、意見表出を促す様々な機会提供の効果がみられていると考えられる。一方、「数理的」については、教育内容の多くが意図していない分野ではあったが、これからの時代に求められる「AI人材」の育成という点では、課題が残る結果であった。

他の項目については、全学部での数値を上回った。8割を超えた項目に着目すると、「分析力や問題解決能力」、「他の人と協力して物事を遂行する能力」、「地域社会が直面する問題を理解する能力」、「国民が直面する問題を理解する能力」、「文章表現の能力」、「プレゼンテーションの能力」、「コンピュータの操作能力」、「卒業後に就職するための準備の程度」である。また、「一般的な教養」については100%を達成した。「地域基盤型職業人」の育成を掲げている、教養学部地域教養学科としての責務を果たしているといえる。

2. 大学における学習状況について（教養学部）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした



N. 教員に親近感を感じた

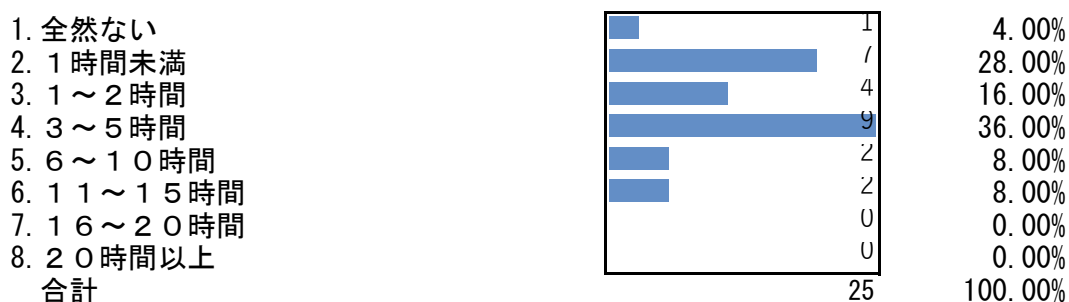


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

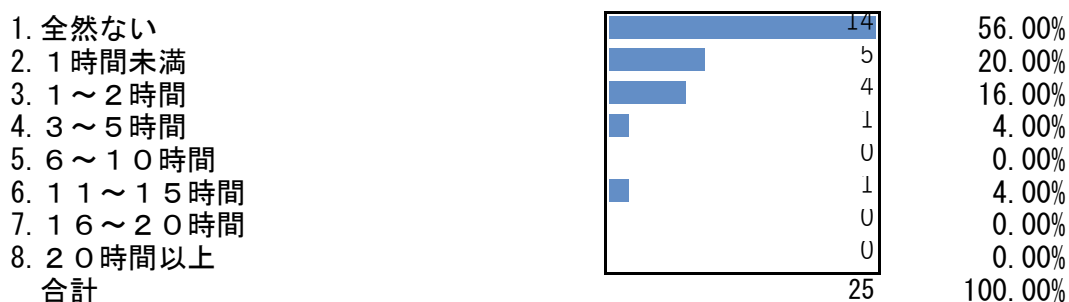
A. 授業や実験に出る



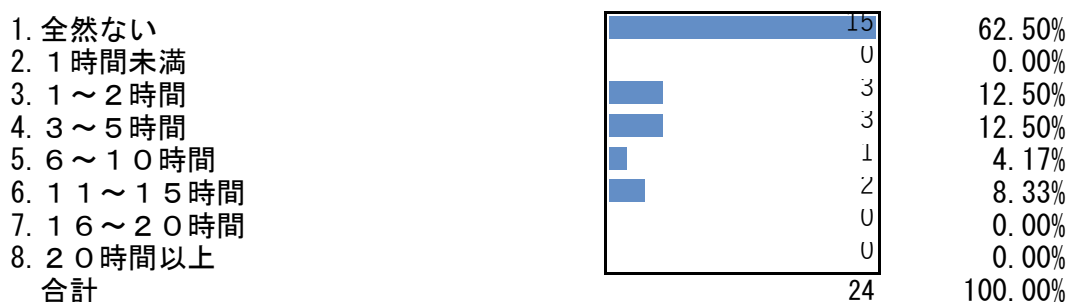
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



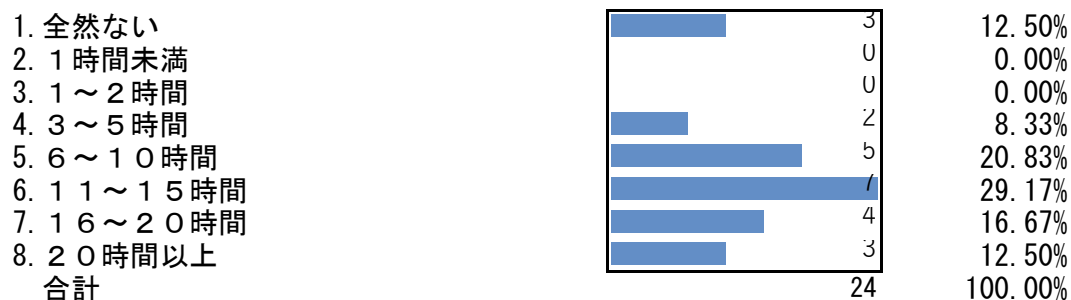
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



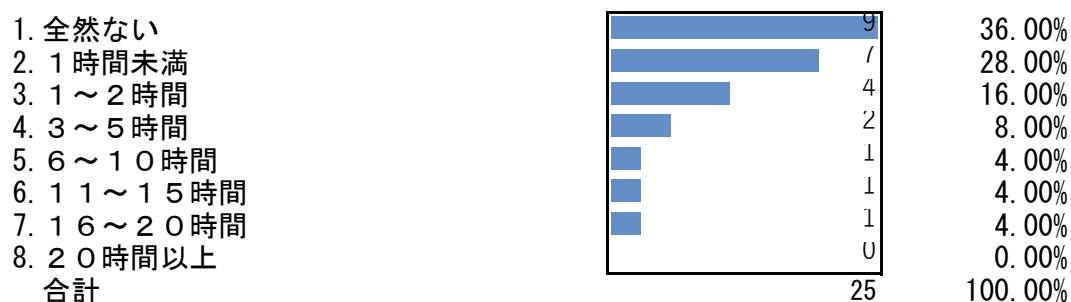
D. 部活動や同好会に参加する



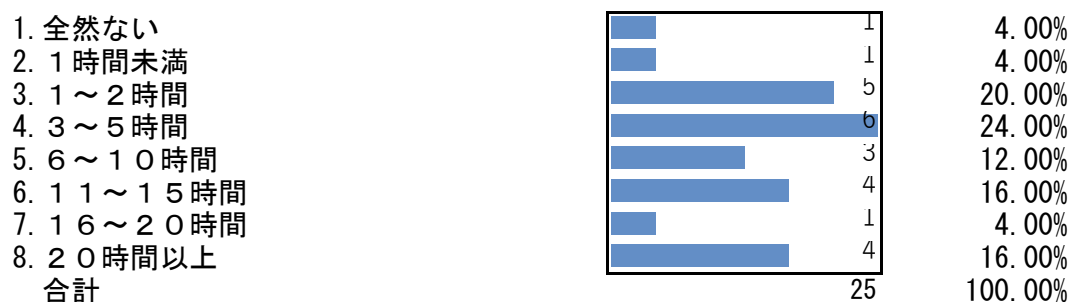
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



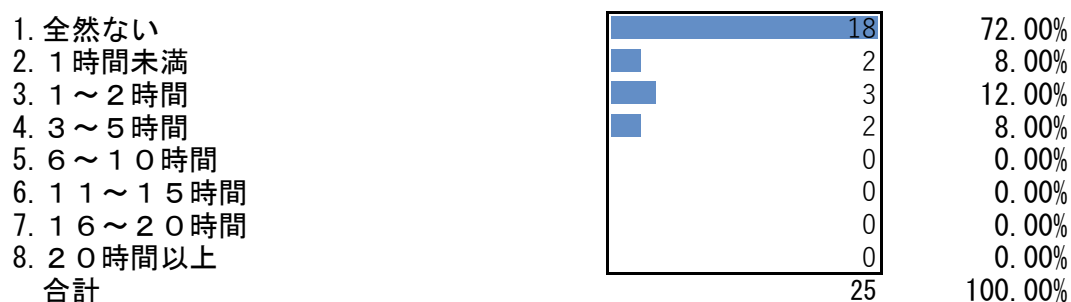
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



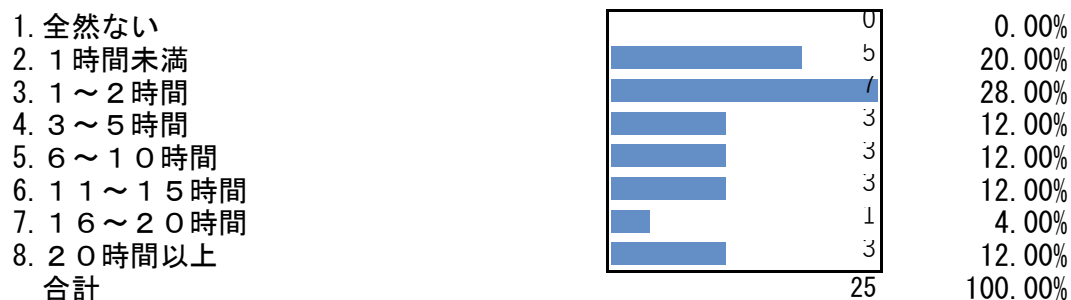
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

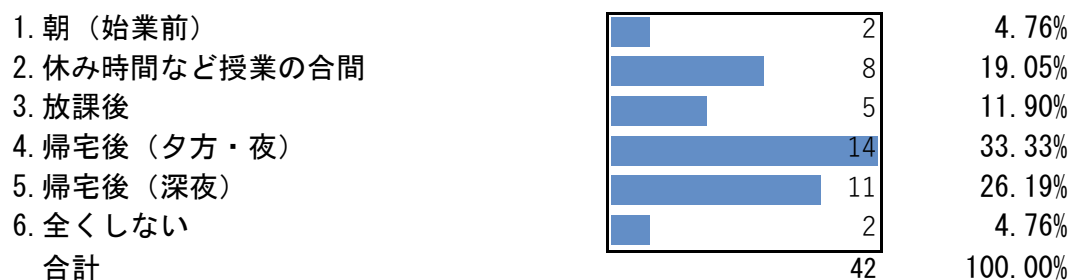


I. メール、Facebook、LINE等の利用



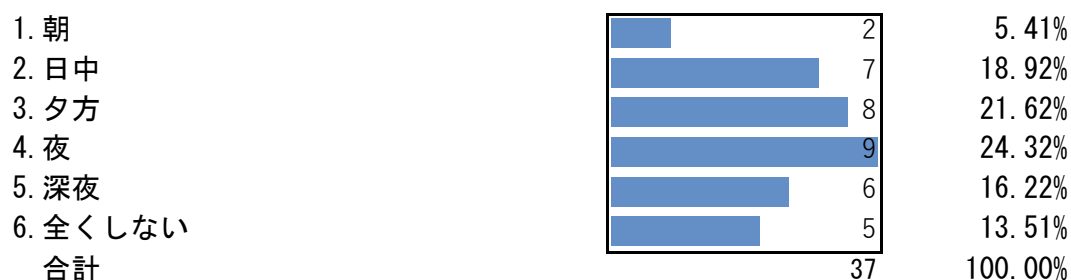
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

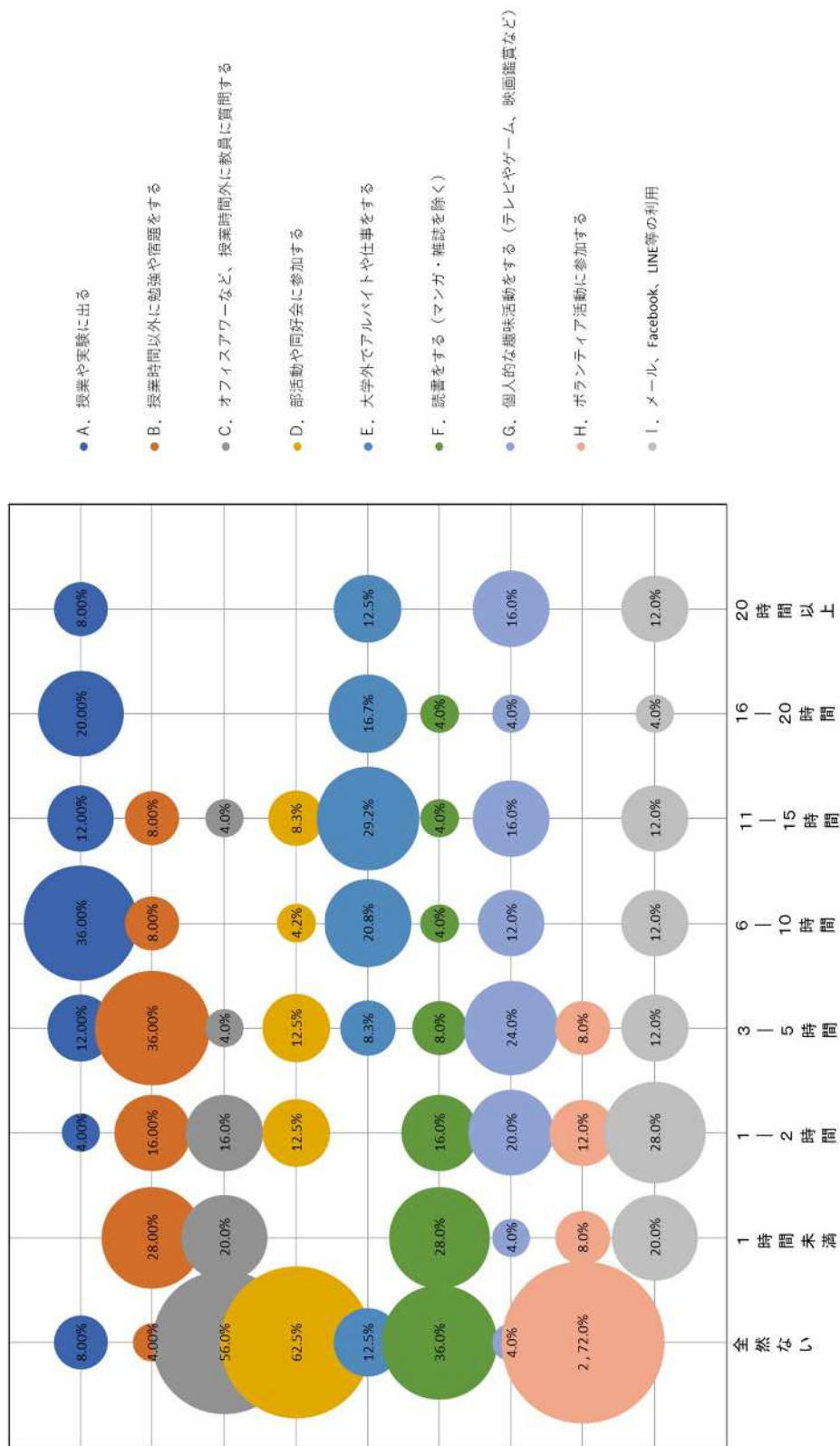


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	3	12.00%
2. 増えた	9	36.00%
3. 変化なし	11	44.00%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	2	8.00%
合計	25	100.00%

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	6	24.00%
2. 増えた	15	60.00%
3. 変化なし	4	16.00%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	25	100.00%

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	7	28.00%
2. 増えた	13	52.00%
3. 変化なし	5	20.00%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	25	100.00%

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	2	8.00%
2. 増えた	6	24.00%
3. 変化なし	14	56.00%
4. 減った	3	12.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	25	100.00%

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	8	32.00%
2. 増えた	15	60.00%
3. 変化なし	2	8.00%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	25	100.00%

R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた	2	8.00%
2. 増えた	14	56.00%
3. 変化なし	6	24.00%
4. 減った	3	12.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	25	100.00%

S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



2020 年度 医療創生大学「学修行動調査」 調査結果に対する考察（薬学部）

本学部における 2020 年度「学修行動調査」の調査結果について、それぞれ 4、2 年前（2016、2018 年度）と比較した。2020 年度は、従来までと異なり新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、特に前期では学生の大学構内への入構禁止、遠隔授業実施や実習延期、部活・サークルなど課外活動の中止、図書館休館日の増加・利用時間短縮など、学生は日常の学生生活様式の変更を余儀なくされた 1 年間であった。これらの影響が今回の「学修行動調査」結果に大きく反映されている項目が複数見受けられたので、その点も含めて以下に考察する。

2. 大学における学習状況について

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

全 14 項目（A～N）のうち、特に従来よりも変化があった項目について、以下に記述する。

・「E. 学生自身が文献や資料を調べる」は、「ひんぱんにあった」が 2016・2018 年度に比べて 15% 程度増え、「ときどきあった」も加えると約 90%が肯定的回答であった。これは、2020 年度は新型コロナウイルス感染症による学生の大学への入構禁止や自宅での自粛などの影響を受けて、学生自身が自宅でインターネットなどを利用して文献や資料を調べる機会が増えたものと推測される。

・「G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する」は、2016 年度から 2018 年度にかけては「ひんぱんにあった」が増加していたものの、2020 年度は大きく減り、「ときどきあった」にシフトしていた。特に 1 年次開講の「イグナイト教育 1A」では、教員が学生ポートフォリオ、manab@ISU などに提出したレポートや作文に対して添削やコメントし、1 週間振り返りスタンプラリーに対して教員がコメントをつけてフィードバックしていた。しかし、2020 年度は遠隔授業の実施に伴い、例年のように教員が添削やコメントをつける機会が減ったことが、今回の結果に反映されていると推測される。

・「I. 授業中に学生同士が議論をする」は、「ひんぱんにあった」「ときどきあった」の肯定的回答が約 96%と、2016・2018 年度よりも大きく増加していた。1 年次開講の「イグナイト教育 1A」ではグループ活動（スモールグループディスカッション）などを行うが、これは遠隔授業でも同様に行ったため、学生にとっては議論をした印象が強く残っているのではないかと推測される。また、イグナイト教育 1B・2A・2B・3、プレゼンテーション（アドバンストイグナイト）、生物学や機能形態学など、学生同士が議論をする場が増えていることも、今回の結果に反映されていると推測される。

・「N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける」は、2016・2018 年度に比べて、「ひんぱんにあった」が大きく減少した。例年、1 年次のクラスルームやイグナイト教育 1A、学生実習など、SA や TA が履修学生に対してサポートを行っている。しかし、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、遠隔授業の実施などにより SA が補助をする機会が減ったこと、一方で教員側もなるべく学年が異なる学生同士を接触させない、密にならないようにと SA の採用に消極

的であったことが影響していると考えられる。また現在、薬学部はいずれの学年も時間割が詰まっており、時間が空いている上級生を SA として採用できる機会が少ない。今後は、時間割の編成などを検討し、SA や TA から補助を受けることが出来るような体制づくりが必要である。

(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

全 14 項目 (A～N) のうち、特に従来よりも変化があった項目について、以下に記述する。

・「B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した」は、「ひんぱんにあった」と「ときどきあった」の肯定的回答が 2016 年度 (約 90 %) よりも 2018 年度 (約 93 %) で増加し、2020 年度は 96 % とさらに増加している。また、「C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした」は、従来よりも「ひんぱんにあった」が大きく増えた。その要因としては、①入学時の学生へのタブレットの配布、②新型コロナウイルス感染症の影響による遠隔授業の実施、学生の自宅での自粛などによるインターネット利用、課題提出の機会の増加、③学生、そして教員側の manab@ISU や C-ラーニングなど学修支援ツールの使用頻度の増加、などが挙げられる。

・「E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした」は、「ひんぱんにあった」が大きく減り、「ときどきあった」が大きく増えた。その要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による遠隔授業の実施や、密になる状態を避けるなどにより、学生同士による勉強や授業内容を話す頻度が減ったと考えられるが肯定的回答は全体的に減ってはいないので、次年度以降の調査結果を見ていきたい。

・「G. 授業を欠席した」「H. 授業に遅刻した」「I. 授業をつまらなく感じた」「J. 授業中に居眠りをした」は、いずれの項目も「ひんぱんにあった」と「ときどきあった」と回答した学生が増えていた。これは遠隔授業の影響が強くあると推測される。即ち、遠隔授業は、対面授業とは異なり、ほぼスライドと教員の声のみと、動ではなく静の授業が展開され、単調な授業になり易かったこと、学生側としては自宅での講義の受け方 (例えば、寝起きすぐに授業を受けるなど、対面授業とは異なる、学生側の授業に対する意識の変化) などが本回答の結果につながっているのではないと思われる。

・「N. 教員に親近感を感じた」は、「ひんぱんにあった」「ときどきあった」の肯定的回答が 2016・2018 年度よりも大きく減った。遠隔授業や遠隔でのチューター面談は、通常の対面とは異なり、教員に対する親近感が減った可能性が考えられた。

(3) 入学以来、あなたは次の活動に 1 週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

全 11 項目 (A～K) のうち、特に従来よりも変化があった項目について、以下に記述する。

・「B. 授業時間以外に勉強や宿題をする」では、11 時間以上と答えた学生が全体の 56%を占めており、2016・2018 年度に比べて年々増加傾向にある。これは、課題やレポートなど宿題を課す教員が増え、学生も復習や試験などに向けた自主的な勉強の時間が増えているのではないかと推測される。

・「C. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員に質問する」「D. 部活動や同好会に参加する」「E. 大学外でアルバイトや仕事をする」「H. ボランティア活動をする」はいずれも、「全然ない」と回答した学生が増えた。その主な要因としては新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。

・「J. 平日（授業のある日）の予習・復習を行う主な時間帯」では、今回（2020 年度）帰宅後（夕方・夜）や帰宅後（深夜）と回答した学生が、放課後と回答した学生が多かった 2016・2018 年度に比べて、大きく増加した。これは新型コロナウイルス感染症の影響が大きくあると推測され、遠隔授業の実施や自宅での自粛期間の影響や、対面授業が再開しても図書館の開館日が少なく、利用時間が 17 時までと短いことから、学生は図書館や学習センターを有効に利用できなかったことが主な理由として挙げられる。現在、本学部生からは以前のように図書館（学習センター）の利用時間を延長してほしい（そこで勉強で利用したい）との要望が多く出ているので、今後は是非検討して頂きたい。

（４）入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

全 20 項目（A～T）のうち、特に従来よりも変化があった項目について、以下に記述する。

・「E. 異文化の人々に関する知識」「I. 異文化の人々と協力する能力」については、2016・2018 年度とあまり大きく変わっていない。現在、本学は、ウズベキスタンのタシケント医学アカデミーおよびタシケント薬科大学との国際交流協定を結んでいることから、これを機に本学部生も国際交流の機会を得るのも良いのではないかとと思われる。

・「F. リーダーシップの能力」「G. 人間関係を構築する能力」「H. 他の人と協力して物事を遂行する能力」「N. コミュニケーションの能力」「O. プレゼンテーションの能力」は、2016・2018 年度に比べて「大きく増えた」と回答した学生が大きく減った。これは特に本調査に回答した学部生の 3 分の 1 を占める 1 年生の全員が「大きく増えた」と回答していなかった。2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、特に 1 年生においては、イグナイト教育 1A をはじめとする各科目でのグループ活動や発表の機会が大きく減少したことが要因として挙げられる。

・「R. 時間を有効に利用する能力」は、2016・2018 年度に比べて、「大きく増えた」と回答した学生が減った。これも新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自宅での学生自身による時間管理を余儀なくされたことが挙げられる。イグナイト教育 1A では「スチューデントスキルズ・スタディスキルズ」として「大学に来ること」が時間管理を行う上で非常に大切だと学生には教えているが、今回のコロナウイルス感染症の影響による自宅での自粛や遠隔授業の実施などが大きく影響したものと推測される。

(1)あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

		薬学部 2020年度 (%)	薬学部 2016年度 (%)	薬学部 2018年度 (%)	全学 2020年度 (%)
1. ひんぱんにあった	45	42.86%	27.70	24.10	29.74
2. ときどきあった	51	48.57%	49.32	53.01	50.77
3. あまりなかった	8	7.62%	18.24	16.87	16.15
4. まったくなかった	1	0.95%	4.73	6.02	3.33
合計	105	100.00%			

B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ

1. ひんぱんにあった	38	36.19%	29.45	36.14	38.46
2. ときどきあった	60	57.14%	47.26	49.40	49.49
3. あまりなかった	6	5.71%	19.18	13.25	10.77
4. まったくなかった	1	0.95%	4.11	1.20	1.28
合計	105	100.00%			

C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する

1. ひんぱんにあった	22	20.95%	20.27	23.81	26.15
2. ときどきあった	67	63.81%	52.03	55.95	57.69
3. あまりなかった	16	15.24%	22.97	16.67	14.87
4. まったくなかった	0	0.00%	4.73	3.57	1.28
合計	105	100.00%			

D. 授業の一環でボランティア活動をする

1. ひんぱんにあった	0	0.00%	1.35	2.38	0.51
2. ときどきあった	7	6.67%	10.81	9.52	9.49
3. あまりなかった	21	20.00%	22.97	33.33	27.44
4. まったくなかった	77	73.33%	64.86	54.76	62.56
合計	105	100.00%			

E. 学生自身が文献や資料を調べる

1. ひんぱんにあった	49	46.67%	31.97	32.14	29.82
2. ときどきあった	46	43.81%	49.66	41.67	53.47
3. あまりなかった	10	9.52%	15.65	19.05	14.65
4. まったくなかった	0	0.00%	2.72	7.14	2.06
合計	105	100.00%			

F. 定期的に小テストやレポートが課される

1. ひんぱんにあった	68	64.76%	43.24	70.24	68.89
2. ときどきあった	35	33.33%	46.62	20.24	27.76
3. あまりなかった	2	1.90%	8.11	9.52	2.83
4. まったくなかった	0	0.00%	2.03	0.00	0.51
合計	105	100.00%			

G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

1. ひんぱんにあった	22	20.95%	16.89	42.17	15.68
2. ときどきあった	64	60.95%	41.89	40.96	55.53
3. あまりなかった	17	16.19%	30.41	9.64	24.68
4. まったくなかった	2	1.90%	10.81	7.23	4.11
合計	105	100.00%			

H. 学生が自分の考えや研究を発表する

1. ひんぱんにあった	31	29.81%	29.73	33.73	24.16
2. ときどきあった	60	57.69%	52.70	45.78	54.50
3. あまりなかった	12	11.54%	12.84	16.87	17.74
4. まったくなかった	1	0.96%	4.73	3.61	3.60
合計	104	100.00%			

I. 授業中に学生同士が議論をする

1. ひんぱんにあった	43	40.95%
2. ときどきあった	58	55.24%
3. あまりなかった	3	2.86%
4. まったくなかった	1	0.95%
合計	105	100.00%

33.11	38.10	34.62
50.68	48.81	51.03
11.49	8.33	10.51
4.73	4.76	3.85

J. 授業で検討するテーマを学生が設定する

1. ひんぱんにあった	7	6.67%
2. ときどきあった	37	35.24%
3. あまりなかった	52	49.52%
4. まったくなかった	9	8.57%
合計	105	100.00%

6.76	7.23	9.49
50.00	39.76	36.67
26.35	33.73	34.62
16.89	19.28	19.23

K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

1. ひんぱんにあった	7	6.67%
2. ときどきあった	51	48.57%
3. あまりなかった	36	34.29%
4. まったくなかった	11	10.48%
合計	105	100.00%

5.41	9.52	6.94
48.65	33.33	46.53
30.41	46.43	34.96
15.54	10.71	11.57

L. 取りたい授業を履修登録できなかった

1. ひんぱんにあった	3	2.86%
2. ときどきあった	26	24.76%
3. あまりなかった	29	27.62%
4. まったくなかった	47	44.76%
合計	105	100.00%

2.70	0.00	2.06
20.27	17.86	19.28
29.05	27.38	24.94
47.97	54.76	53.73

M. 出席することが重視される

1. ひんぱんにあった	48	45.71%
2. ときどきあった	38	36.19%
3. あまりなかった	18	17.14%
4. まったくなかった	1	0.95%
合計	105	100.00%

46.62	41.67	47.44
37.84	44.05	39.74
10.14	11.90	10.51
5.41	2.38	2.31

N. SA・TA(上級生や大学院生の授業補助者)から補助を受ける

1. ひんぱんにあった	7	6.67%
2. ときどきあった	43	40.95%
3. あまりなかった	40	38.10%
4. まったくなかった	15	14.29%
合計	105	100.00%

8.11	17.86	4.36
37.84	42.86	32.56
33.78	21.43	29.23
20.27	17.86	33.85

(2)大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した

		薬学部 2020年度 (%)
1. ひんぱんにあった	16	15.24%
2. ときどきあった	46	43.81%
3. あまりなかった	31	29.52%
4. まったくなかった	12	11.43%
合計	105	100.00%

薬学部 2016年度 (%)	薬学部 2018年度 (%)	全学 2020年度 (%)
20.95	14.29	13.88
45.95	33.33	37.53
22.30	34.52	29.05
10.81	17.86	19.54

B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した

1. ひんぱんにあった	68	64.76%
2. ときどきあった	33	31.43%
3. あまりなかった	3	2.86%
4. まったくなかった	1	0.95%
合計	105	100.00%

47.97	66.67	58.61
41.89	26.19	35.73
6.76	5.95	3.86
3.38	1.19	1.80

C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした

1. ひんぱんにあった	73	69.52%
2. ときどきあった	30	28.57%
3. あまりなかった	2	1.90%
4. まったくなかった	0	0.00%
合計	105	100.00%

47.62	59.52	70.36
35.37	27.38	26.03
10.20	8.33	2.58
6.80	4.76	1.03

D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった

1. ひんぱんにあった	2	1.92%
2. ときどきあった	17	16.35%
3. あまりなかった	32	30.77%
4. まったくなかった	53	50.96%
合計	104	100.00%

3.40	1.19	1.03
18.37	16.67	19.64
35.37	27.38	32.30
42.86	54.76	47.03

E. 授業時間以外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした

1. ひんぱんにあった	32	30.77%
2. ときどきあった	54	51.92%
3. あまりなかった	11	10.58%
4. まったくなかった	7	6.73%
合計	104	100.00%

38.51	44.05	31.52
44.59	34.52	52.97
9.46	14.29	10.59
7.43	7.14	4.91

F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた

1. ひんぱんにあった	0	0.00%
2. ときどきあった	11	10.48%
3. あまりなかった	39	37.14%
4. まったくなかった	55	52.38%
合計	105	100.00%

2.03	1.20	1.80
17.57	13.25	12.63
39.86	49.40	37.11
40.54	36.14	48.45

G. 授業を欠席した

1. ひんぱんにあった	4	3.81%
2. ときどきあった	17	16.19%
3. あまりなかった	41	39.05%
4. まったくなかった	43	40.95%
合計	105	100.00%

2.72	0.00	2.84
25.85	15.48	16.75
40.14	64.43	37.63
31.29	38.10	42.78

H. 授業に遅刻した

1. ひんぱんにあった	2	1.90%
2. ときどきあった	21	20.00%
3. あまりなかった	32	30.48%
4. まったくなかった	50	47.62%
合計	105	100.00%

7.43	1.19	1.30
20.27	5.95	15.03
29.05	32.14	32.90
43.24	60.71	50.75

I. 授業をつまらなく感じた

1. ひんぱんにあった	21	20.00%
2. ときどきあった	54	51.43%
3. あまりなかった	29	27.62%
4. まったくなかった	1	0.95%
合計	105	100.00%

17.57	14.29	12.14
47.30	48.81	57.36
25.68	29.76	24.81
9.46	7.14	5.68

J. 授業中に居眠りをした

1. ひんぱんにあった	15	14.29%
2. ときどきあった	51	48.57%
3. あまりなかった	25	23.81%
4. まったくなかった	14	13.33%
合計	105	100.00%

13.51	13.25	8.79
39.19	36.14	42.64
31.76	37.35	30.75
15.54	13.25	17.83

K. 教員の研究プロジェクトに参加した

1. ひんぱんにあった	1	0.96%
2. ときどきあった	8	7.69%
3. あまりなかった	22	21.15%
4. まったくなかった	73	70.19%
合計	104	100.00%

2.04	1.19	1.55
7.48	4.76	8.79
21.77	19.05	23.51
68.71	75.00	66.15

L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した

1. ひんぱんにあった	3	2.86%
2. ときどきあった	14	13.33%
3. あまりなかった	26	24.76%
4. まったくなかった	62	59.05%
合計	105	100.00%

3.38	2.38	5.41
16.22	26.19	12.63
29.05	26.19	25.26
51.35	45.24	56.70

M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

1. ひんぱんにあった	2	1.90%
2. ときどきあった	14	13.33%
3. あまりなかった	30	28.57%
4. まったくなかった	59	56.19%
合計	105	100.00%

2.72	3.57	2.84
18.37	9.52	17.57
23.81	27.38	27.65
55.10	59.52	51.94

N. 教員に親近感を感じた

1. ひんぱんにあった	8	7.62%
2. ときどきあった	49	46.67%
3. あまりなかった	33	31.43%
4. まったくなかった	15	14.29%
合計	105	100.00%

10.81	21.43	8.79
49.32	50.00	46.51
25.68	19.05	29.97
14.19	9.52	14.73

(3)入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

A. 授業や実験に出る

		栄子部 2020年度 (%)
1. 全然ない	0	0.00%
2. 1時間未満	0	0.00%
3. 1～2時間	1	0.95%
4. 3～5時間	6	5.71%
5. 6～10時間	6	5.71%
6. 11～15時間	6	5.71%
7. 16～20時間	8	7.62%
8. 20時間以上	78	74.29%
合計	105	100.00%

栄子部 2016年度 (%)	栄子部 2018年度 (%)	王子 2020年度 (%)
2.03	1.20	1.30
1.35	1.20	2.07
2.03	1.20	2.07
4.05	0.00	7.51
15.54	8.43	12.69
3.38	4.82	8.03
9.46	7.23	14.77
62.16	75.90	51.55

B. 授業時間以外に勉強や宿題をする

1. 全然ない	2	1.90%
2. 1時間未満	1	0.95%
3. 1～2時間	7	6.67%
4. 3～5時間	12	11.43%
5. 6～10時間	24	22.86%
6. 11～15時間	19	18.10%
7. 16～20時間	19	18.10%
8. 20時間以上	21	20.00%
合計	105	100.00%

2.70	1.19	1.55
4.73	2.38	7.73
12.16	7.14	16.49
21.62	17.86	27.06
20.27	20.24	19.85
8.11	11.90	10.31
14.19	16.67	9.02
16.22	22.62	7.99

C. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員に質問する

1. 全然ない	32	30.48%
2. 1時間未満	40	38.10%
3. 1～2時間	24	22.86%
4. 3～5時間	5	4.76%
5. 6～10時間	4	3.81%
6. 11～15時間	0	0.00%
7. 16～20時間	0	0.00%
8. 20時間以上	0	0.00%
合計	105	100.00%

33.11	17.86	41.86
32.43	34.52	37.98
20.95	27.38	14.73
8.11	15.48	2.84
3.38	3.57	2.33
0.00	1.19	0.26
0.00	0.00	0.00
2.03	0.00	0.00

D. 部活動や同好会に参加する

1. 全然ない	79	75.96%
2. 1時間未満	6	5.77%
3. 1～2時間	9	8.65%
4. 3～5時間	7	6.73%
5. 6～10時間	1	0.96%
6. 11～15時間	1	0.96%
7. 16～20時間	0	0.00%
8. 20時間以上	1	0.96%
合計	104	100.00%

50.34	58.33	67.01
8.84	10.71	5.45
16.33	15.48	11.95
13.61	8.33	9.87
6.80	5.95	2.86
1.36	1.19	1.56
0.68	0.00	0.26
2.04	0.00	1.04

E. 大学外でアルバイトや仕事をする

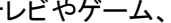
1. 全然ない	72	68.57%
2. 1時間未満	4	3.81%
3. 1～2時間	7	6.67%
4. 3～5時間	8	7.62%
5. 6～10時間	5	4.76%
6. 11～15時間	4	3.81%
7. 16～20時間	2	1.90%
8. 20時間以上	3	2.86%
合計	105	100.00%

68.03	59.52	46.89
2.04	2.38	1.81
2.04	4.76	4.15
6.80	8.33	12.18
11.56	13.10	15.03
4.08	4.76	10.10
2.04	5.95	5.18
3.40	1.19	4.66

F. 読書をする

1. 全然ない	53	50.48%
---------	----	--------

44.59	48.81	53.89
-------	-------	-------

2. 1時間未満		27	25.71%
3. 1～2時間		10	9.52%
4. 3～5時間		10	9.52%
5. 6～10時間		2	1.90%
6. 11～15時間		3	2.86%
7. 16～20時間		0	0.00%
8. 20時間以上		0	0.00%
合計		105	100.00%

21.62	25.00	22.54
14.86	10.71	11.92
8.11	7.14	6.74
4.73	3.57	2.59
4.73	2.38	1.81
0.68	0.00	0.26
0.68	2.38	0.26

G. 個人的な趣味活動をする(テレビやゲーム、映画鑑賞など)

1. 全然ない		4	3.81%
2. 1時間未満		11	10.48%
3. 1～2時間		13	12.38%
4. 3～5時間		32	30.48%
5. 6～10時間		15	14.29%
6. 11～15時間		19	18.10%
7. 16～20時間		4	3.81%
8. 20時間以上		7	6.67%
合計		105	100.00%

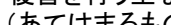
8.78	4.76	4.65
3.38	7.14	6.72
21.62	20.24	17.05
33.78	23.81	28.42
14.86	23.81	16.54
9.46	8.33	11.63
0.68	3.57	4.13
7.43	8.33	10.85

H. ボランティア活動に参加する

1. 全然ない		97	92.38%
2. 1時間未満		5	4.76%
3. 1～2時間		1	0.95%
4. 3～5時間		1	0.95%
5. 6～10時間		0	0.00%
6. 11～15時間		0	0.00%
7. 16～20時間		0	0.00%
8. 20時間以上		1	0.95%
合計		105	100.00%

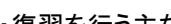
93.24	90.48	88.63
0.68	1.19	5.68
0.68	1.19	2.58
3.38	4.76	1.55
0.00	2.38	0.78
0.00	0.00	0.00
2.03	0.00	0.26
0.00	0.00	0.52

I. メール、Facebook、LINE等の利用

1. 全然ない		1	0.95%
2. 1時間未満		31	29.52%
3. 1～2時間		32	30.48%
4. 3～5時間		21	20.00%
5. 6～10時間		7	6.67%
6. 11～15時間		3	2.86%
7. 16～20時間		5	4.76%
8. 20時間以上		5	4.76%
合計		105	100.00%

8.16	3.57	2.08
20.41	29.76	18.70
25.85	27.38	28.05
26.53	20.24	23.64
10.88	9.52	10.39
2.04	5.95	5.97
2.04	1.19	4.16
4.08	2.38	7.01

J. 平日(授業のある日)に予習・復習を行う主な時間帯 (あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 朝(始業前)		26	11.35%
2. 休み時間など授業の合間		25	10.92%
3. 放課後		45	19.65%
4. 帰宅後(夕方・夜)		73	31.88%
5. 帰宅後(深夜)		57	24.89%
6. 全くしない		3	1.31%
合計		229	100.00%

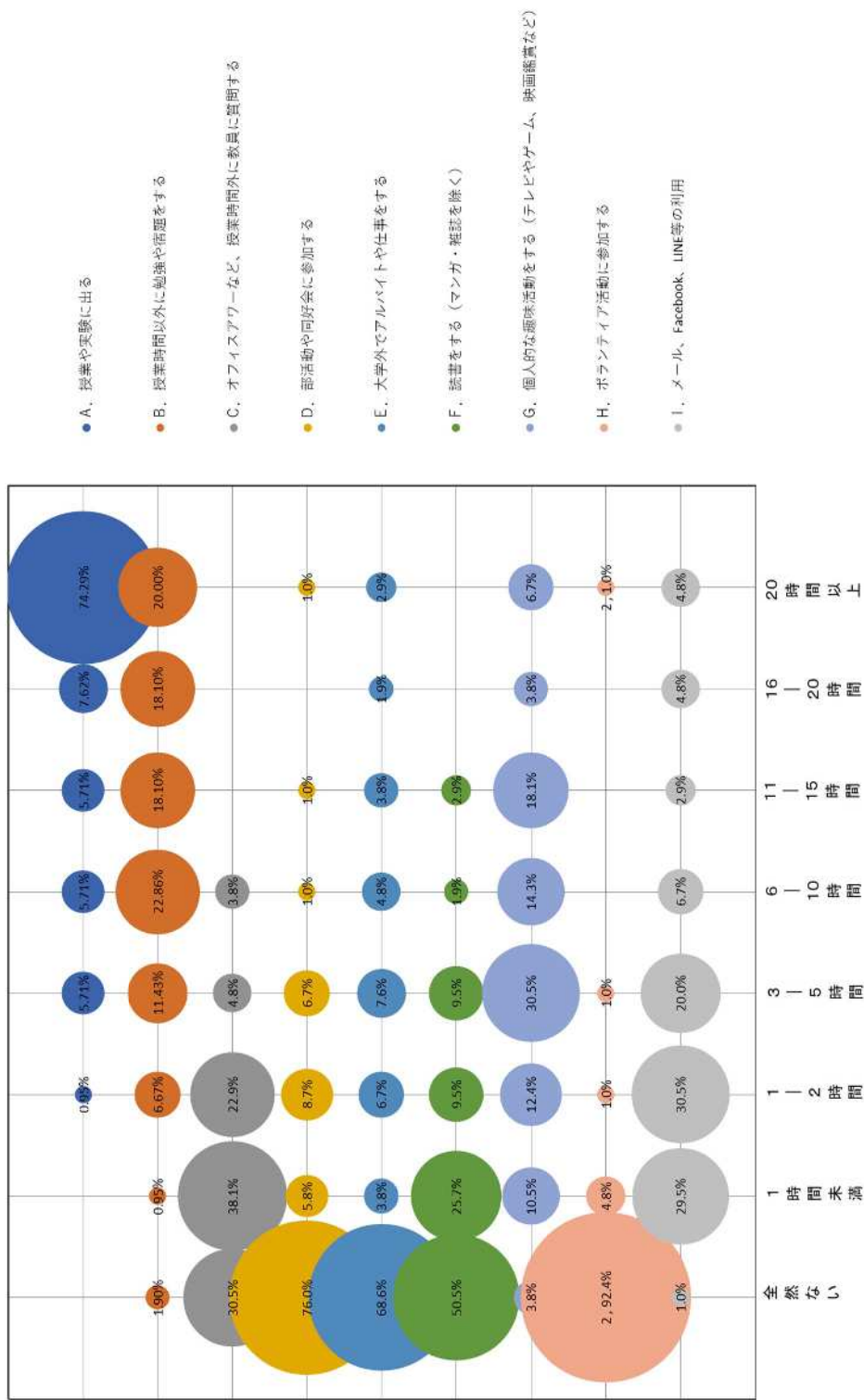
11.57	13.98	9.19
10.98	14.52	11.76
28.49	33.33	15.81
26.41	20.43	32.97
21.07	15.59	27.16
1.48	2.15	3.11

K. 休日(授業のない日)に予習・復習を行う主な時間帯 (あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 朝		17	6.46%
2. 日中		63	23.95%
3. 夕方		71	27.00%
4. 夜		79	30.04%
5. 深夜		30	11.41%
6. 全くしない		3	1.14%
合計		263	100.00%

8.41	8.72	5.14
21.74	26.67	22.68
25.51	25.13	24.07
26.67	23.59	29.57
15.07	12.82	15.79
2.61	3.08	2.76

2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4)入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養

		栄子部 2020年度 (%)
1. 大きく増えた	16	15.24%
2. 増えた	65	61.90%
3. 変化なし	21	20.00%
4. 減った	2	1.90%
5. 大きく減った	1	0.95%
合計	105	100.00%

栄子部 2016年度 (%)	栄子部 2018年度 (%)	王子 2020年度 (%)
17.57	15.48	12.92
60.81	60.71	68.99
15.54	19.05	16.28
4.73	4.76	1.55
1.35	0.00	0.26

B. 分析力や問題解決能力

1. 大きく増えた	16	15.24%
2. 増えた	69	65.71%
3. 変化なし	19	18.10%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	1	0.95%
合計	105	100.00%

16.33	15.48	10.85
58.50	60.71	63.82
21.09	21.43	23.77
2.72	1.19	1.29
1.36	1.19	0.26

C. 専門分野や学科の知識

1. 大きく増えた	46	43.81%
2. 増えた	52	49.52%
3. 変化なし	7	6.67%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	105	100.00%

30.61	34.52	29.97
55.78	54.76	62.53
8.16	7.14	6.98
4.08	3.57	0.26
1.36	0.00	0.26

D. 批判的に考える能力

1. 大きく増えた	13	12.38%
2. 増えた	54	51.43%
3. 変化なし	36	34.29%
4. 減った	1	0.95%
5. 大きく減った	1	0.95%
合計	105	100.00%

8.78	10.71	8.79
51.35	58.33	53.49
33.11	28.57	34.38
6.08	1.19	2.33
0.68	1.19	1.03

E. 異文化の人々に関する知識

1. 大きく増えた	7	6.67%
2. 増えた	33	31.43%
3. 変化なし	64	60.95%
4. 減った	1	0.95%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	105	100.00%

5.44	7.23	6.74
27.89	27.71	42.49
59.86	63.86	49.22
2.04	1.20	1.30
4.76	0.00	0.26

F. リーダーシップの能力

1. 大きく増えた	1	0.95%
2. 増えた	40	38.10%
3. 変化なし	59	56.19%
4. 減った	4	3.81%
5. 大きく減った	1	0.95%
合計	105	100.00%

8.22	10.84	4.66
36.99	32.53	35.49
46.58	55.42	55.96
4.79	1.20	3.11
3.42	0.00	0.78

G. 人間関係を構築する能力

1. 大きく増えた	8	7.69%
2. 増えた	51	49.04%
3. 変化なし	38	36.54%
4. 減った	6	5.77%
5. 大きく減った	1	0.96%
合計	104	100.00%

12.24	16.67	11.75
47.62	51.19	51.96
31.97	30.95	31.85
4.76	1.19	3.13
3.40	0.00	1.31

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

1. 大きく増えた		11	10.48%
2. 増えた		55	52.38%
3. 変化なし		36	34.29%
4. 減った		2	1.90%
5. 大きく減った		1	0.95%
合計		105	100.00%

16.89	20.24	11.40
54.73	54.76	57.77
21.62	23.81	29.02
5.41	1.19	0.78
1.35	0.00	1.04

I. 異文化の人々と協力する能力

1. 大きく増えた		3	2.86%
2. 増えた		18	17.14%
3. 変化なし		82	78.10%
4. 減った		2	1.90%
5. 大きく減った		0	0.00%
合計		105	100.00%

4.73	5.95	3.62
16.89	23.81	27.39
67.57	66.67	66.93
7.43	2.38	1.55
3.38	1.19	0.52

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた		5	4.76%
2. 増えた		34	32.38%
3. 変化なし		61	58.10%
4. 減った		5	4.76%
5. 大きく減った		0	0.00%
合計		105	100.00%

2.04	4.82	5.17
30.61	36.14	45.99
57.82	55.42	46.51
7.48	3.61	2.07
2.04	0.00	0.26

K. 国民が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた		2	1.92%
2. 増えた		39	37.50%
3. 変化なし		59	56.73%
4. 減った		3	2.88%
5. 大きく減った		1	0.96%
合計		104	100.00%

2.70	4.82	5.17
29.05	36.14	45.99
63.51	57.83	46.51
3.38	0.00	2.07
1.35	1.20	0.26

L. 文章表現の能力

1. 大きく増えた		6	5.71%
2. 増えた		46	43.81%
3. 変化なし		44	41.90%
4. 減った		6	5.71%
5. 大きく減った		3	2.86%
合計		105	100.00%

6.08	8.33	8.53
47.97	50.00	53.49
40.54	40.48	33.85
2.03	1.19	2.84
3.38	0.00	1.29

M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた		4	3.81%
2. 増えた		18	17.14%
3. 変化なし		67	63.81%
4. 減った		10	9.52%
5. 大きく減った		6	5.71%
合計		105	100.00%

2.03	3.57	2.85
24.32	25.00	23.32
56.08	61.90	62.18
10.81	9.52	7.51
6.76	0.00	4.15

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた		11	10.48%
2. 増えた		50	47.62%
3. 変化なし		39	37.14%
4. 減った		3	2.86%
5. 大きく減った		2	1.90%
合計		105	100.00%

10.81	15.48	15.50
51.35	45.24	50.65
30.41	38.10	31.27
5.41	1.19	1.81
2.03	0.00	0.78

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた		12	11.54%
-----------	-------------	----	--------

8.78	18.29	10.10
------	-------	-------

2. 増えた		50	48.08%
3. 変化なし		40	38.46%
4. 減った		0	0.00%
5. 大きく減った		2	1.92%
合計		104	100.00%

56.08	48.78	45.60
29.73	30.49	42.23
4.05	2.44	1.30
1.35	0.00	0.78

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた		9	8.57%
2. 増えた		44	41.90%
3. 変化なし		47	44.76%
4. 減った		3	2.86%
5. 大きく減った		2	1.90%
合計		105	100.00%

7.48	10.71	4.40
48.30	40.48	29.27
38.10	44.05	59.59
4.08	3.57	4.92
2.04	1.19	1.81

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた		17	16.19%
2. 増えた		48	45.71%
3. 変化なし		38	36.19%
4. 減った		1	0.95%
5. 大きく減った		1	0.95%
合計		105	100.00%

9.52	22.62	18.91
53.74	50.00	53.37
31.29	26.19	26.68
2.72	0.00	0.78
2.72	1.19	0.26

R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた		12	11.43%
2. 増えた		48	45.71%
3. 変化なし		38	36.19%
4. 減った		6	5.71%
5. 大きく減った		1	0.95%
合計		105	100.00%

8.84	20.24	10.59
53.74	46.43	51.94
31.29	29.76	32.82
4.76	2.38	3.88
1.36	1.19	0.78

S. グローバルな問題の理解

1. 大きく増えた		2	1.94%
2. 増えた		30	29.13%
3. 変化なし		69	66.99%
4. 減った		1	0.97%
5. 大きく減った		1	0.97%
合計		103	100.00%

4.05	1.19	2.60
25.00	27.38	31.25
63.51	66.67	64.84
2.70	4.76	1.04
4.73	0.00	0.26

T. 卒業後に就職するための準備の程度

1. 大きく増えた		7	6.80%
2. 増えた		32	31.07%
3. 変化なし		59	57.28%
4. 減った		6	5.83%
5. 大きく減った		1	0.97%
合計		105	101.94%

5.41	4.76	7.49
42.57	23.81	39.79
47.97	70.24	50.39
1.35	1.19	2.07
2.70	0.00	0.26

2020 年度は完成年度を迎え、今回の調査ではこれまでの 1 年生と 3 年生から、1 年生・3 年生・4 年生と 3 学年の集計となった。過去 3 年間の結果とは単純に比較は難しいが、集計結果から看護学部における学修行動の特徴と課題について考察する。

（回答状況）回答者全 125 人中、各学年の回答者数（%）は、1 年生 61 人（48.8%）、3 年生 36 人（28.8%）、4 年生 28 人（22.4%）で 1 年生の回答がもっとも多い状況は昨年同様だが、1 年生の回答者割合昨年の 73%から 48.8%に下がったことから 3,4 年生の回答の影響が昨年のものよりも大きくなっている。

2. 大学における学習状況について

1) 授業での経験

① 前回調査との比較

回答傾向は 2019 年度とほぼ同様だが、「ひんぱんにあった」「ときどきあった」という肯定的回答が 2019 年度より増えた項目が、「A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ」「E. 学生自身が文献や資料を調べる」「F. 定期的に小テストやレポートが課される」「H. 学生が自分の考えや研究を発表する」「I. 授業中に学生同士が議論をする」「J. 授業で検討するテーマを学生が設定する」の 6 項目であった。これらは、今年度から 4 年生の回答が含まれるようになり、卒業研究での取り組みが回答に反映された結果と考えられる。また、「F」の小テストやレポート課題については、コロナウイルス感染症対策による実習や演習の中止により課題レポートが増えたことが影響したと考えられる。

② 全体との比較

全体と比較して回答傾向は概ね同程度であるが、看護学部では、「J. 授業で検討するテーマを学生が設定する」では、「ひんぱんにあった」「ときどきあった」と回答する割合が比較的高い。また、実習で受け持つ患者に合わせてカンファレンステーマを設定したり、講義・演習においても学生にテーマ設定をさせる科目が他学部よりも比較的多いことが考えられる。逆に全体と比較して「あまりなかった」「まったくなかった」が多かったのが、「G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する」「N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける」であった。看護学実習の特徴として、臨地実習の多くがいわゆる「張り付き実習」で教員が実習施設において直接口頭でコメントを行っており、このことが添削・コメントの結果に影響していると考えられる。SA・TA の補助に関して、先輩・後輩での学び合いは、補助を受ける後輩は気軽に相談ができる。また、補助をする先輩も学びを深めることができ、学修の相乗効果が期待できる。しかし看護学部ではこれがほとんど機能しておらず、今後、学年間で交流できるようなカリキュラムや科目の工夫を検討していく必要がある。

2) 授業以外での学習

① 前回調査との比較

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症流行による遠隔授業の導入で、「B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した」「C. インターネットを使って授業を受けたり、提出したりした」で、「ひんぱんにあった」「ときどきあった」が前回 2019 年度よりも大幅に増加している。逆に、「L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した」は「あまりなかった」「まったくなかった」が増加している。

「D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった」で、「まったくなかった」が微減し「ときどきあった」が微増していた。コロナ禍で課題が増えたことが影響したと考えられるが、各科目の課題量や時期の重なりなども影響した可能性がある。科目間での課題時期の調整も検討していく必要がある。

「G. 授業を欠席した」は 2019 年度より「あまりなかった」「まったくなかった」がやや増加したものの、「J. 授業中に居眠りした」で「ひんぱんにあった」「ときどきあった」が増加していた。課題が増えた可能性の他、後述のアルバイト時間数が増えていることなどが影響していることが考えられる。

② 全体との比較

全体と比較して回答傾向は概ね同程度であるが、看護学部では、「A. 授業課題のために図書館の資料を利用した」で「ひんぱんにあった」「ときどきあった」とする者の合計割合が、全体では 51.4% であるのに対し、看護学部では 70.4% と高い。臨地実習での事前学習に加え、看護学部では調べ学習が比較的多いことが影響していると考えられる。

「K. 教員の研究プロジェクトに参加した」「N. 教員に親近感を感じた」が全体に比べ、低い傾向にある。研究や勉強会など授業以外にも学生が参加できるような機会を設けるとともに、オフィスアワーを拡充させる取り組みが求められる。

3) 1 週間あたりの活動時間

① 前回調査との比較

「B. 授業時間以外の学習」では、「全然ない～2 時間未満」の者の割合が 2019 年度と比較して減少している。3 年生は実習準備、そして 4 年生は卒業研究で授業時間外での学習機会が増えることが反映していると思われる。

「E. アルバイト」では、2019 年度に比べ、「全然ない」が 2019 年度の 52.9% から 37.9% に減少し、6 時間以上の回答者割合が増加している。コロナ禍で経済的問題を抱える学生が存在していることが推察され、これに加え「I. メール、Facebook、LINE 等の利用」で 3 時間以上と回答している者の割合が増えていることや、「J. 平日に予習・復習を行う時間帯」に「深夜」と回答している者の割合も増加しており、学修への影響が懸念される。

看護学部では、「部活動や同好会」「ボランティア」といった活動に参加することが少なく、「読書」の時間も少ない。幅広い知識の獲得や感性を磨く上でもこれらの活動を促す工夫が必要と思われる。

② 全体との比較

回答傾向は全体とほぼ同様であるが、看護では、「B. 授業時間以外の学習」の時間が「全然ない～2時間未満」の者の割合が全体と比較して少ない。看護の臨地実習では予習・復習が欠かせないことの表れであると思われる。

4) 能力や知識の変化

① 前回調査との比較

4年生の回答が加わったことで、「A. 一般的な教養」「B. 分析力や問題解決能力」「C. 専門分野の」「D. 批判的に考える能力」「F. リーダーシップ」「G. 人間関係を構築する能力」「H. 他者と協力して物事を遂行する能力」「L. 文章表現の能力」「N. コミュニケーションの能力」「O. レゼンテーションの能力」「T. 卒業後に就職するための準備の程度」で、「増えた」と回答する者の割合が増加した。これらに対して、「E. 異文化の人々に関する知識」「I. 異文化の人々と協力する能力」「M. 外国語の運用能力」「S. グローバルな問題の理解」など異文化コミュニケーションに関する能力は入学時からほぼ変わらない。これらの能力を高めるようなカリキュラムや授業の工夫などが求められる。

② 全体との比較

看護学部では、「F. リーダーシップ」「G. 人間関係を構築する能力」「H. 他者と協力して物事を遂行する能力」といった対人関係に関する能力が、全体と比較して高い。同じ医療系の学部であるが、看護は対人スキルが最も要求される職種であることの表れであると考えられる。

2. 大学における学習状況について（看護学部）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

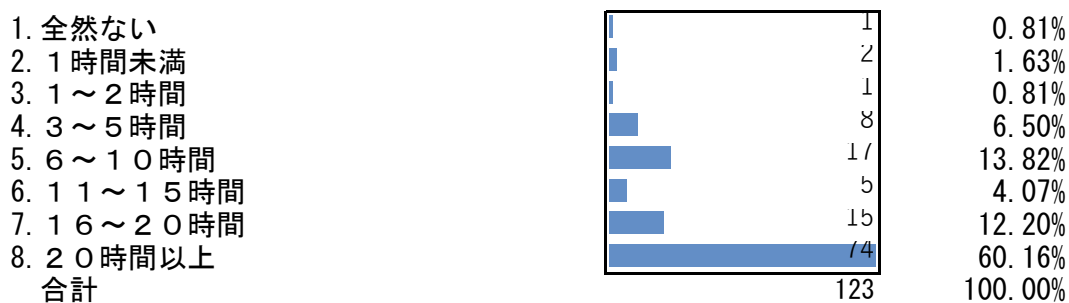


N. 教員に親近感を感じた

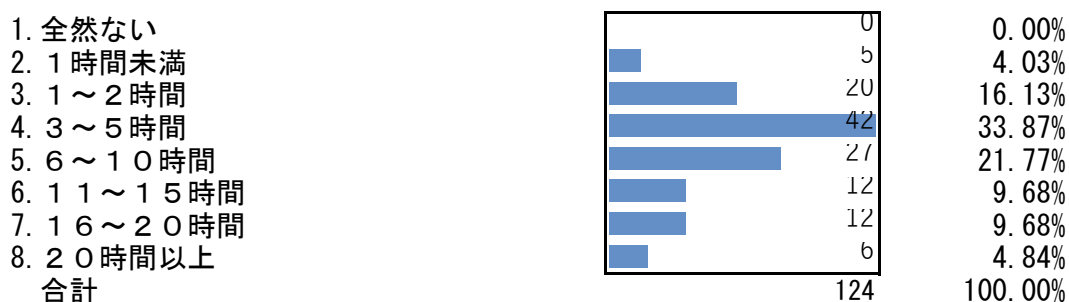


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

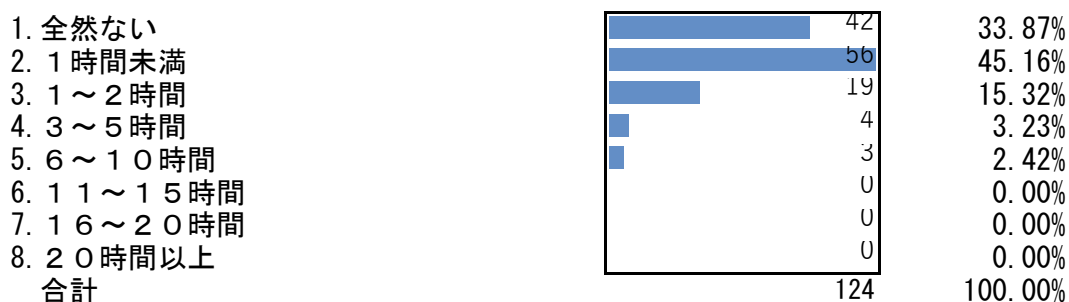
A. 授業や実験に出る



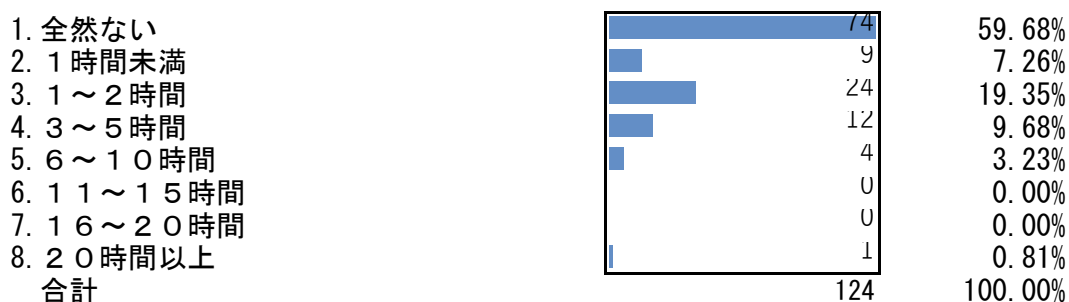
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



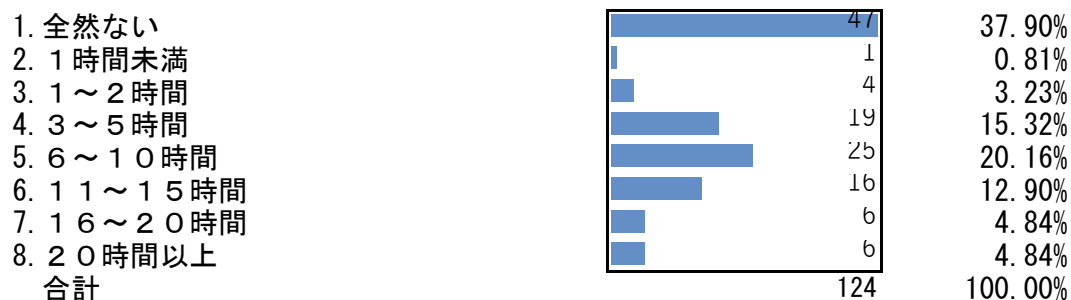
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



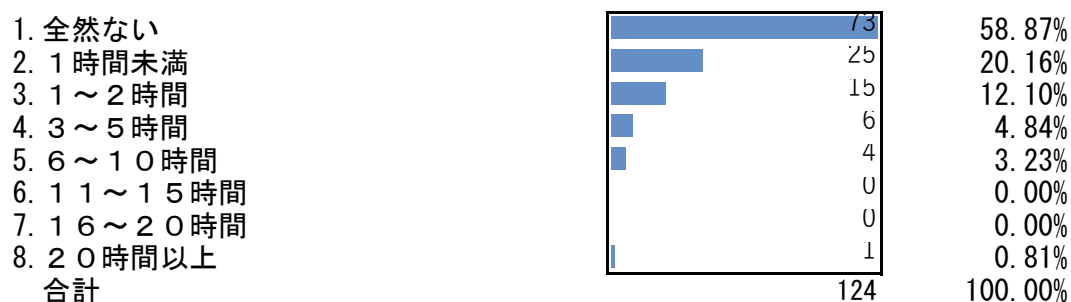
D. 部活動や同好会に参加する



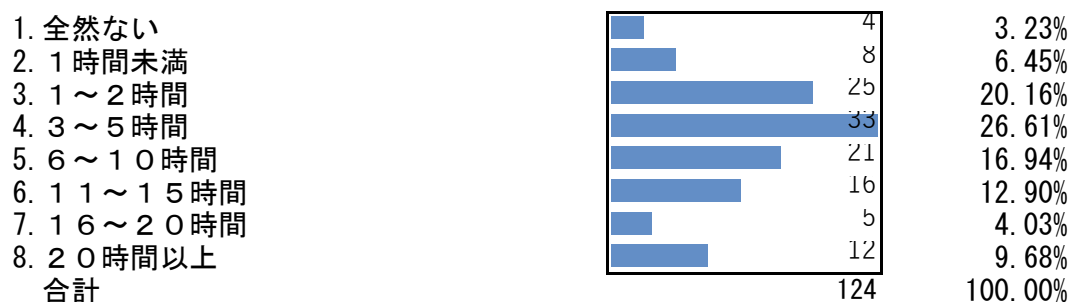
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



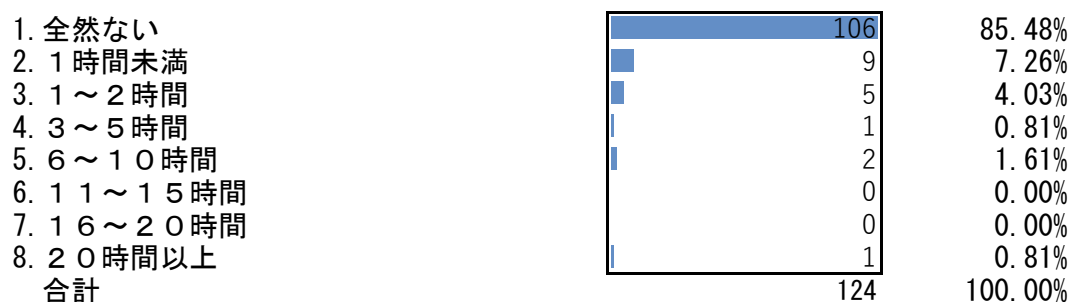
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



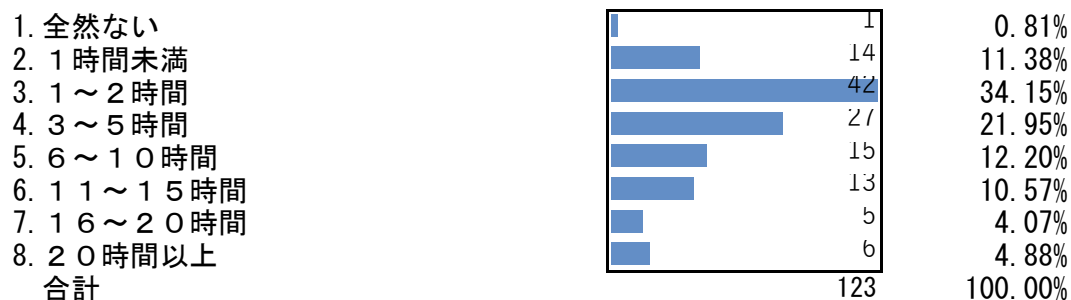
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

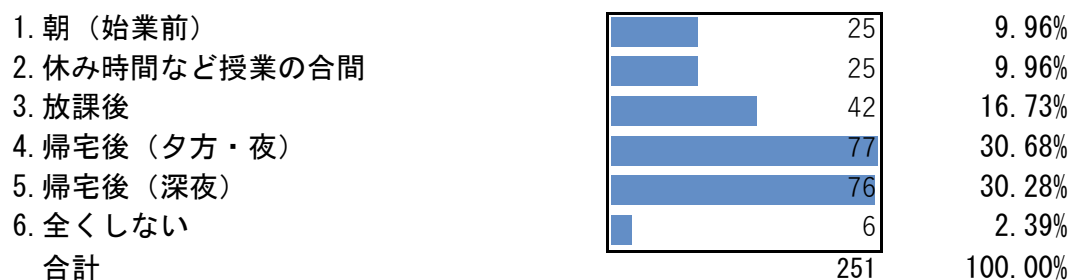


I. メール、Facebook、LINE等の利用



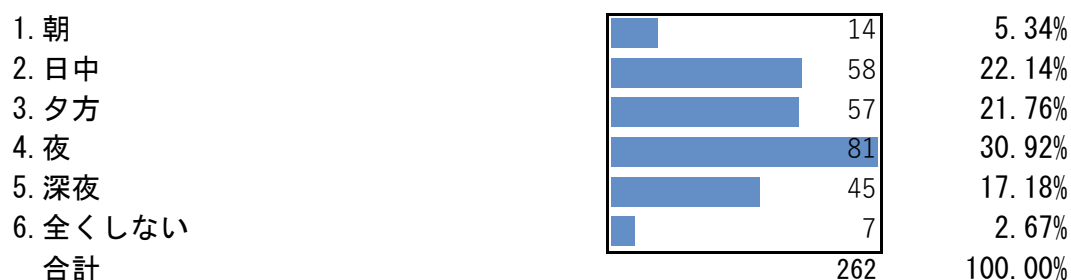
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

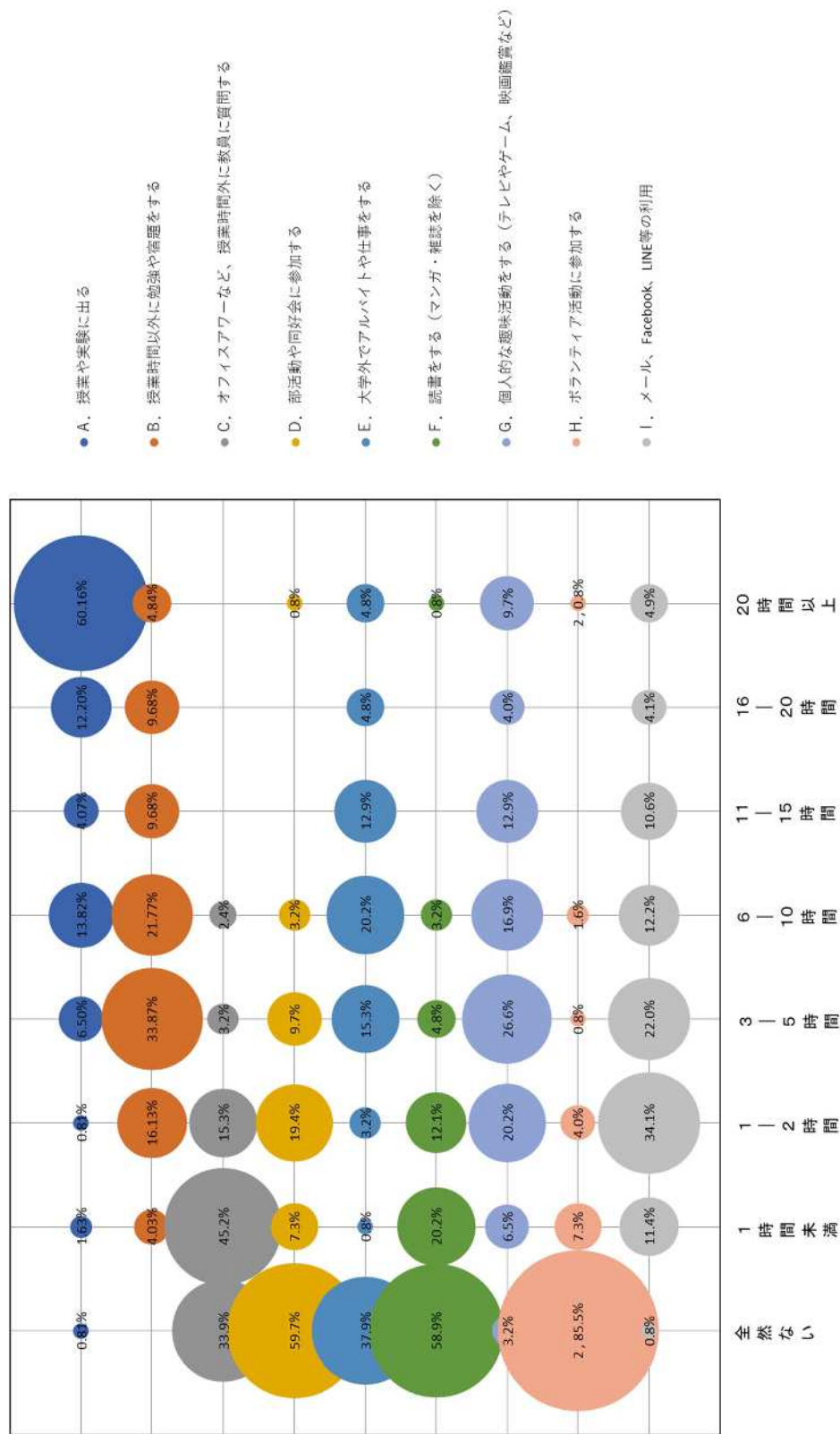


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力

1. 大きく増えた	15	12.20%
2. 増えた	74	60.16%
3. 変化なし	33	26.83%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	1	0.81%
合計	123	100.00%

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力

1. 大きく増えた	14	11.38%
2. 増えた	85	69.11%
3. 変化なし	23	18.70%
4. 減った	1	0.81%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	123	100.00%

I. 異文化の人々と協力する能力

1. 大きく増えた	3	2.42%
2. 増えた	38	30.65%
3. 変化なし	80	64.52%
4. 減った	2	1.61%
5. 大きく減った	1	0.81%
合計	124	100.00%

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	7	5.65%
2. 増えた	62	50.00%
3. 変化なし	53	42.74%
4. 減った	1	0.81%
5. 大きく減った	1	0.81%
合計	124	100.00%

K. 国民が直面する問題を理解する能力

1. 大きく増えた	7	5.65%
2. 増えた	51	41.13%
3. 変化なし	64	51.61%
4. 減った	2	1.61%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	124	100.00%

L. 文章表現の能力

1. 大きく増えた	12	9.68%
2. 増えた	71	57.26%
3. 変化なし	39	31.45%
4. 減った	1	0.81%
5. 大きく減った	1	0.81%
合計	124	100.00%

M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	2	1.63%
2. 増えた	27	21.95%
3. 変化なし	76	61.79%
4. 減った	13	10.57%
5. 大きく減った	5	4.07%
合計	123	100.00%

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	19	15.32%
2. 増えた	69	55.65%
3. 変化なし	36	29.03%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	124	100.00%

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	12	9.68%
2. 増えた	72	58.06%
3. 変化なし	38	30.65%
4. 減った	2	1.61%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	124	100.00%

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	3	2.44%
2. 増えた	36	29.27%
3. 変化なし	76	61.79%
4. 減った	5	4.07%
5. 大きく減った	3	2.44%
合計	123	100.00%

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	24	19.35%
2. 増えた	70	56.45%
3. 変化なし	28	22.58%
4. 減った	2	1.61%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	124	100.00%

R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた	13	10.48%
2. 増えた	67	54.03%
3. 変化なし	40	32.26%
4. 減った	4	3.23%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	124	100.00%

S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



2. 大学における学習状況について（健康医療科学部）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

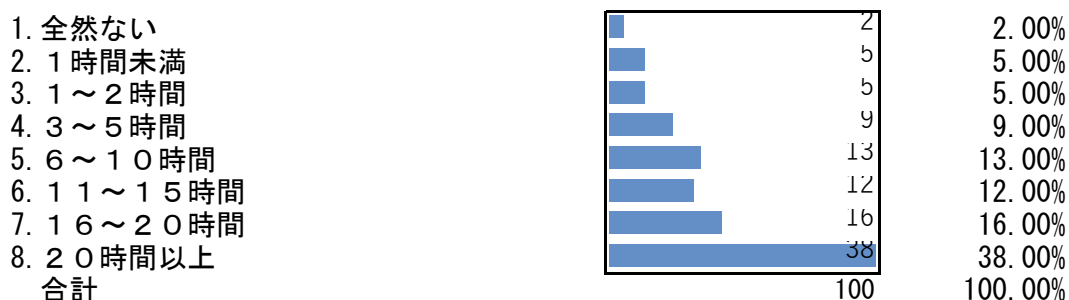


N. 教員に親近感を感じた

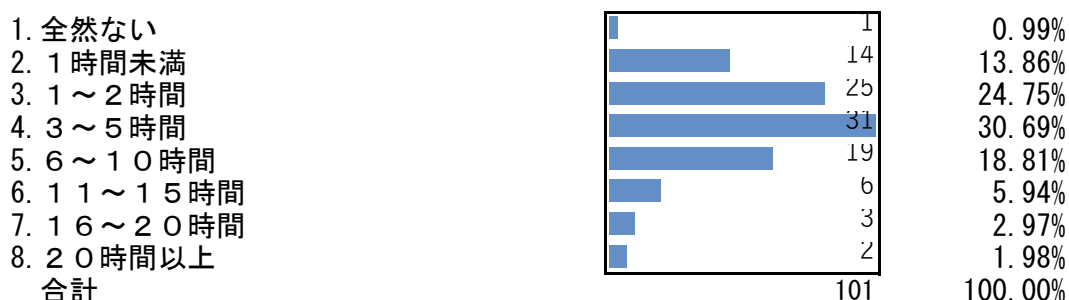


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

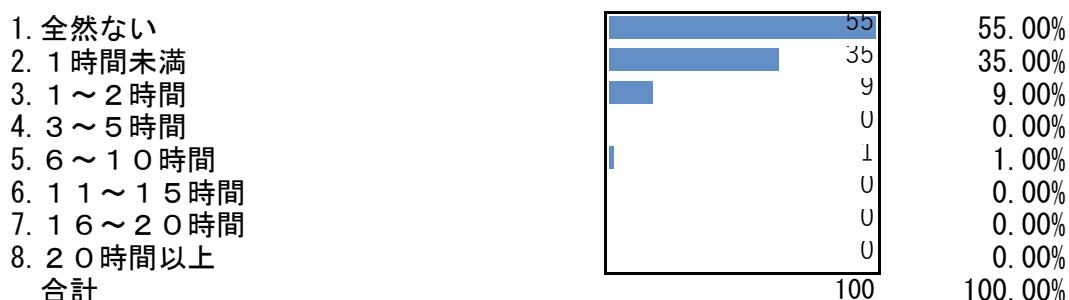
A. 授業や実験に出る



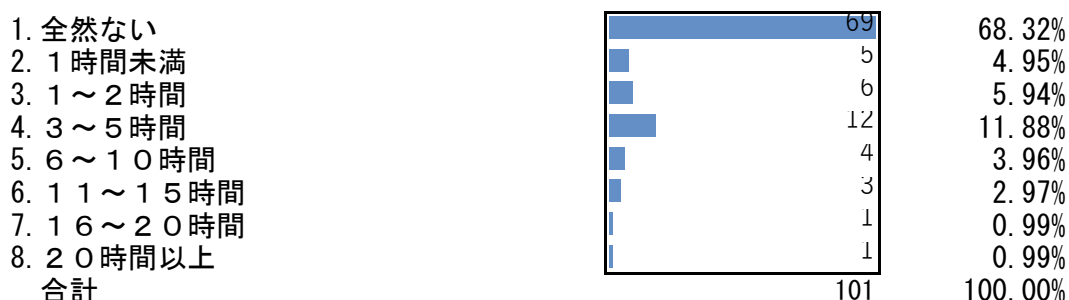
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



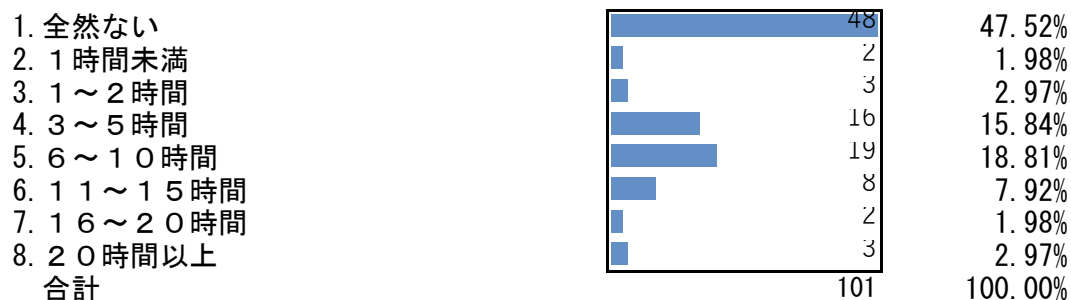
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



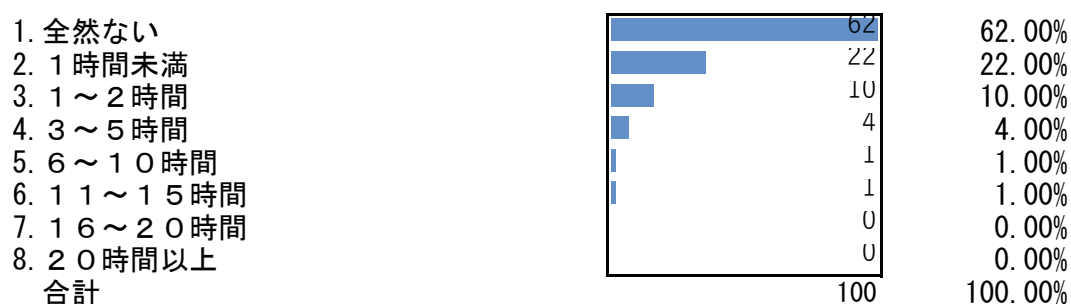
D. 部活動や同好会に参加する



E. 大学外でアルバイトや仕事をする



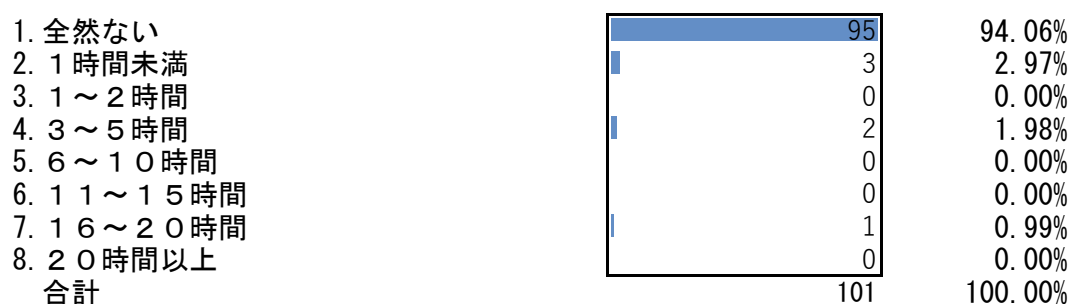
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



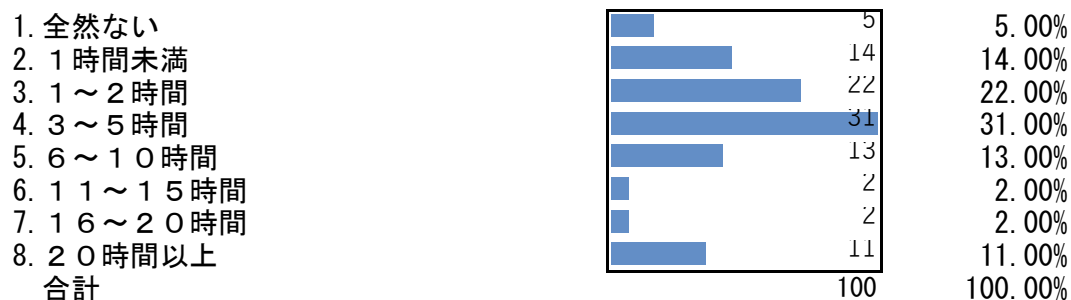
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

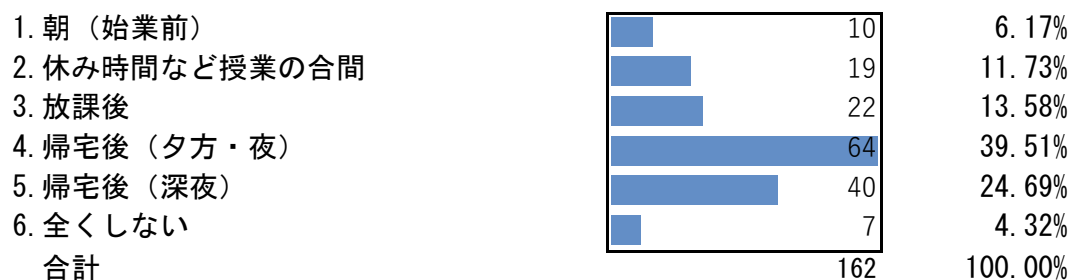


I. メール、Facebook、LINE等の利用



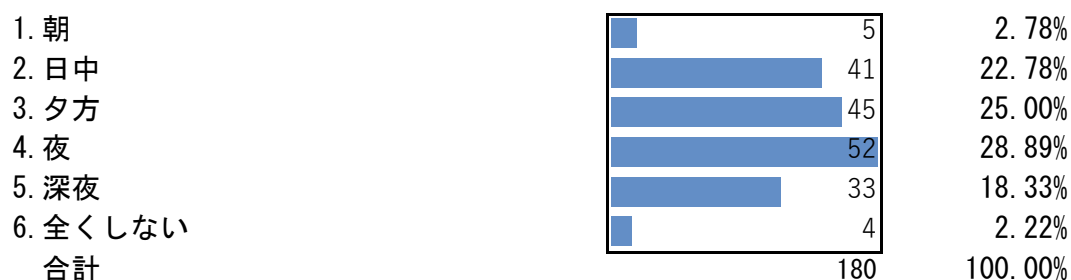
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

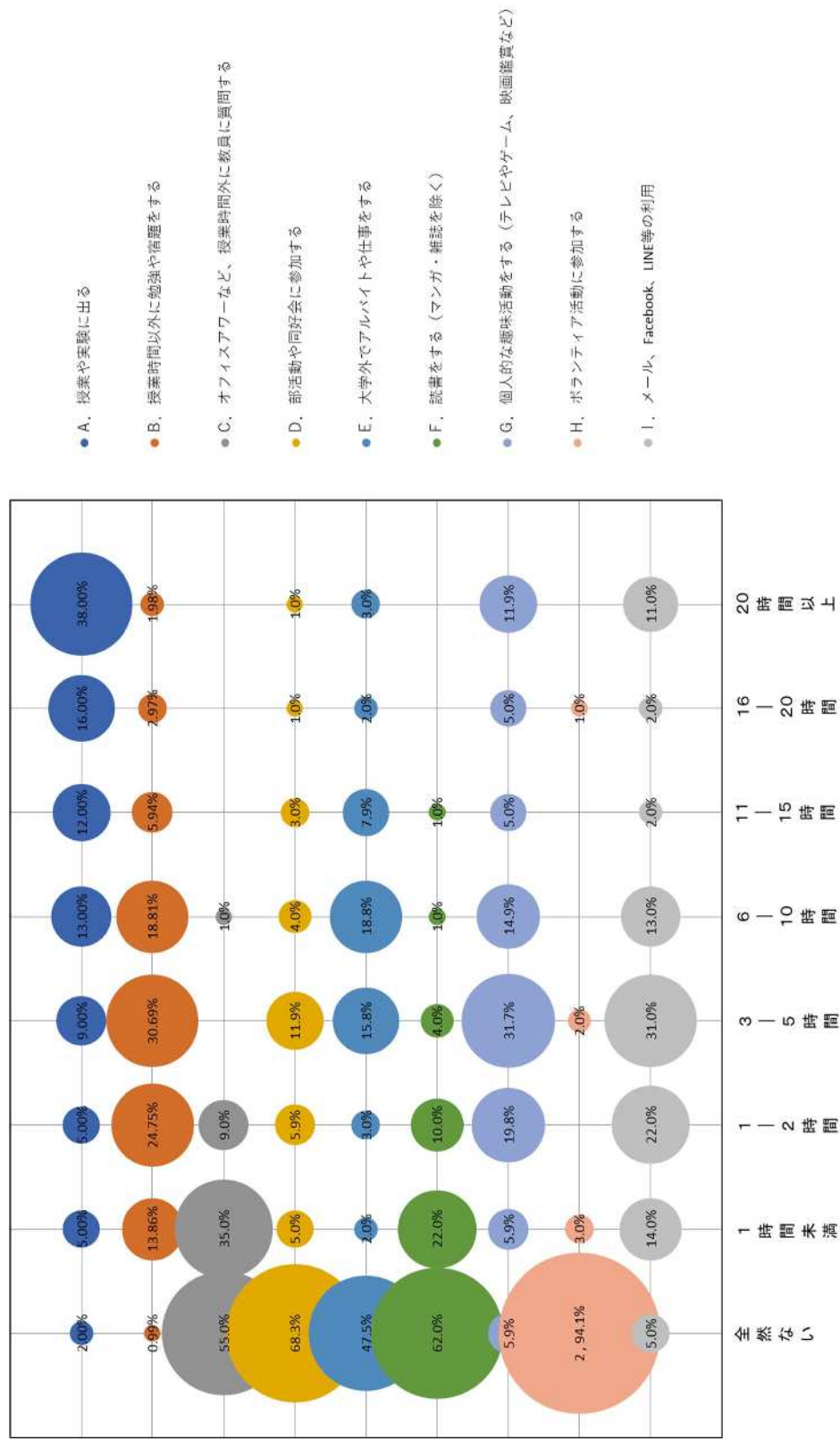


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	2	1.98%
2. 増えた	26	25.74%
3. 変化なし	65	64.36%
4. 減った	5	4.95%
5. 大きく減った	3	2.97%
合計	101	100.00%

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	16	15.84%
2. 増えた	51	50.50%
3. 変化なし	31	30.69%
4. 減った	2	1.98%
5. 大きく減った	1	0.99%
合計	101	100.00%

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	6	5.94%
2. 増えた	24	23.76%
3. 変化なし	69	68.32%
4. 減った	1	0.99%
5. 大きく減った	1	0.99%
合計	101	100.00%

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	3	2.97%
2. 増えた	21	20.79%
3. 変化なし	73	72.28%
4. 減った	4	3.96%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	101	100.00%

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	13	13.00%
2. 増えた	59	59.00%
3. 変化なし	28	28.00%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	100	100.00%

R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた	9	8.91%
2. 増えた	57	56.44%
3. 変化なし	31	30.69%
4. 減った	2	1.98%
5. 大きく減った	2	1.98%
合計	101	100.00%

S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



2020 年度学修行動調査 健康医療科学部 作業療法学科考察

佐々木充直

「全学生へのアンケート調査」であるため、1・2 年生しか在籍していない健康医療科学部と全学年在籍している他学部を単純に比較することは困難であると考えられる。また、健康医療科学部は過去の 2 年生の回答も存在しない。そのため、他学部との比較、経年変化については、除いて考察する。なお、作業療法学科については回答数が 32 名と少なく、回答率についても約 56%と低いいため、考察内容が実態を反映していない可能性があることを付記しておく。

2. 大学における学習状況についての考察

(1)あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

「A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ」の割合が 2019 年度には「ひんぱんにあった」「ときどきあった」が 45%であったものが 2020 年度では 81%と大きく伸びている。2020 年度においては新型コロナウイルスの影響から止む無く実習を学内演習に切り替えたが、学生に対しての学修効果が認められた結果となっている。

「C. 授業内容と社会や日常生活の関りについて教員が説明する」の割合では、2019 年では「ひんぱんにあった」「ときどきあった」が 80%であったのに対し、2020 年度では 94%と伸びを示している。これについては、学年が1年進行して教員の説明への理解が深まっているものと推察される。

「D. 授業の一環でボランティア活動をする」の割合が「ひんぱんにあった」「ときどきあった」の割合が 2019 年には 27%となっていたが、2020 年には 16%と低下している。このことについては、新型コロナウイルスにより外部の活動が制限されてしまったことが影響したものと思われる。

「I. 授業中に学生同士が議論をする」に関しては、2019 年には「ひんぱんにあった」「ときどきあった」の割合が 54%であったのが、2020 年には 81%と大きな伸びを示しており、単に学年進行では説明できず、教員がアクティブラーニングを授業のなかで積極的に取り入れていることを反映しているのではないと思われる。

「N. SA・TA(上級生や大学院生の授業補助者)から補助を受ける」の「あまりなかった」または「まったくなかった」が 2019 年では 73 % となっていたが、2020 年には 94%となっている。今後は上級生を授業の補助者として取り入れることについて、その効果について検討していく必要があると考えられる。

(2)大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のことをどのくらいしましたか。

「A. 授業課題のために図書館の資料を利用した」では、2019 年は「ひんぱんにあった」「ときどきあった」の割合が 82%であったのに対し、2020 年は 10%と大きく低下している。このことについては、新型コロナウイルスの感染予防対策のために図書館及び学習センターの利用を制限したことの影響が大ではなかったかと考えられる。

「B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した」の質問項目で、「ときどきあった」また

は「ひんばんにあった」と回答している学生の割合が2019年、2020年とも90%以上、「C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした」の質問項目では2019年で80%以上、2020年では97%であった。学生たちは、インターネットを使って文献や資料を集めたり調べたりすることが多いと考えられ、インターネットに親和性が高くインターネットを学修の方法のひとつとしてさらに活用していくことが期待できる一方で、インターネットの使い方やその注意点などについてもしっかり教えていく必要があると考えられる。

「E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした」に関しては、「ひんばんにあった」「ときどきあった」の割合が2019年では55%であったのに対して2020年では84%と大きな伸びを示している。これは学年進行に伴って学修レベルが高まったこと、グループワークの機会が増えてきていることなどが要因として考えられる。

「I. 授業をつまらなく感じた」の質問項目で「ひんばんにした」或いは「ときどきあった」と回答する学生の割合は2019年の64%から2020年には58%へ、「J. 授業中に居眠りをした」が2019年の55%から2020年には39%へと、それぞれ学生の授業に積極的に臨む傾向がみられている。この要因としては、学年進行による学習意欲の高まりが大きいのではないかと考える。今後さらに積極的な学習態度を引き出すための授業設計を検討していく必要がある。

授業時間外の学修行動に目を向けてみると、「N. 教員に親近感を感じた」の質問項目で「ひんばんにした」あるいは「ときどきあった」と回答する学生の割合が2019年の55%から2020年には58%へと幾分伸びており、教員に親近感を感じたというのは、チューター制の効果と考えられ、今後学生の学修に対するモチベーションの維持・向上につながる制度として機能していくための経年的な観察が必要である。

(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか

「E. 大学外でアルバイトや仕事をする」の質問項目で、アルバイトをしていない学生が2019年の27%から2020年には61%へ大きく増えており、アルバイトを行っていない学生が多数を占めている。この要因としては、新型コロナウイルスの経済面の影響からアルバイトの求人が減少しているのではないかと考えられる。一方で、「16時間～20時間」が1名、「20時間以上」が1名おり、今後学年が進み専門科目数が多くなっていくと学習時間の確保ができない、または授業の欠席や消極的な授業態度につながる可能性も示唆されるため、学生の生活習慣の把握や指導についても、チューター制度や学年主任を通じてさらに関わっていく必要がある。

「I. メール、Facebook、LINE等の利用」では、中心帯が2019年の「1～2時間」から2020年には「3～5時間」となっており、SNSからの情報収集や情報交換の機会の増加が鮮明となっている。今後は、SNSの適切な使用や予測されるトラブル等の正しい知識を身に付けるための対策が必要となってくるものと考えられる。

「K. 休日(授業のない日)に予習・復習を行う時間帯」の質問項目で、「全くしない」と回答している割合は2%以下であり、98%以上の学生が予習復習を行っているのは、学習習慣の定着という部分で良い傾向と捉えられ、今後も継続的な支援が重要である。

(4)入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

「A. 一般的な教養」、「C. 専門分野や学科の知識」、の質問項目については、「大きく増えた」または「増えた」と回答している割合が 2019 年の 70% 台から 2020 年には 80～90 パーセント台と 10 ポイント以上増加している。また、「K. 国民が直面する問題を理解する能力」、「N. コミュニケーションの能力」の質問項目については、「大きく増えた」または「増えた」と回答している割合が増加している。60%以上となった。このことから、一般的な学習課題から更に専門的知識の習得に向けた意識が向上しているものと推察される。

一方で、「J. 地域社会が直面する問題を理解する能力」、「O. プレゼンテーションの能力」は 2019 年から 2020 年には「大きく増えた」または「増えた」と回答している割合は減少しており、今後の学修指導においてどのようにしてこれらのスキル獲得に結び付けていくのかが、課題としてあげられる。

2. 大学における学習状況について（作業療法学科）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

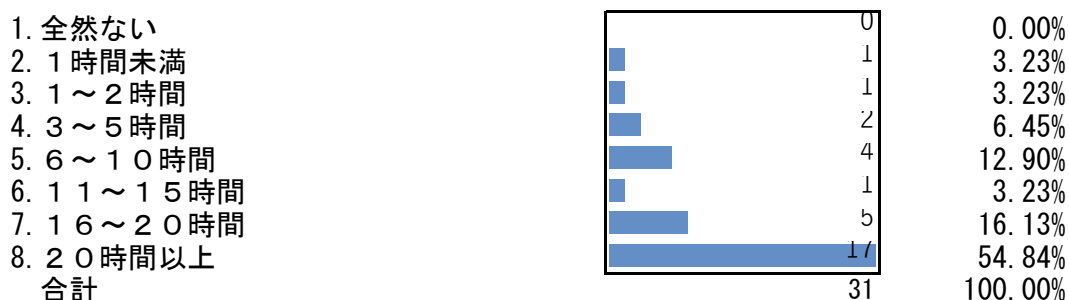


N. 教員に親近感を感じた



(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

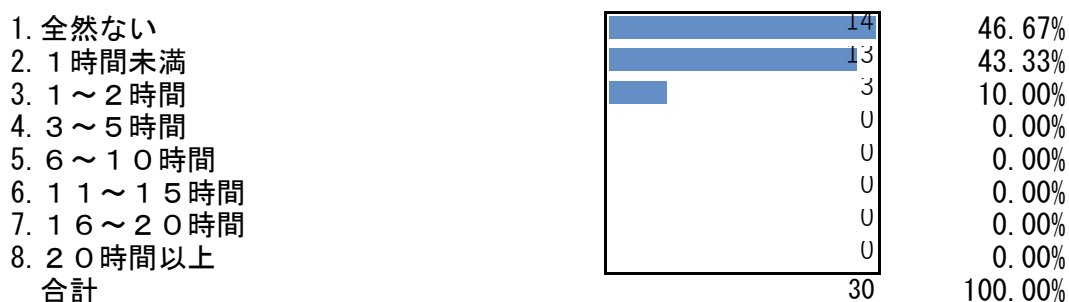
A. 授業や実験に出る



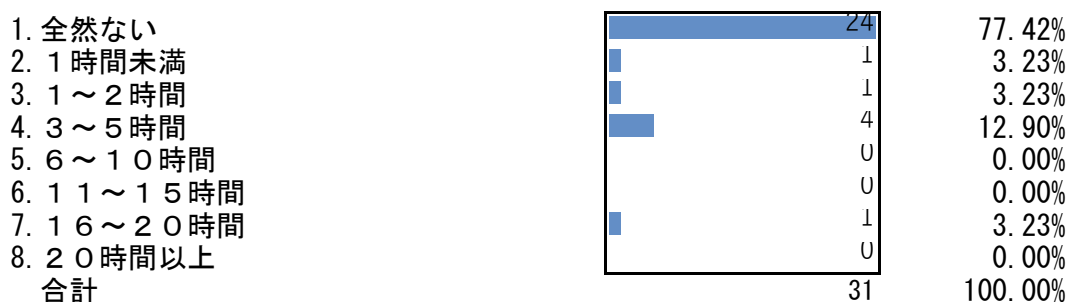
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



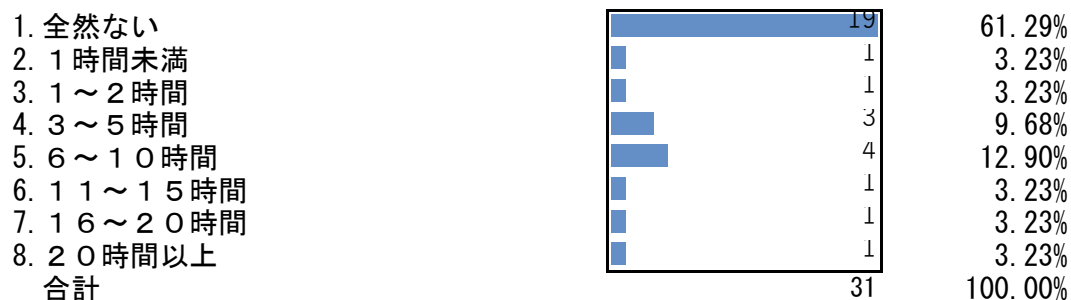
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



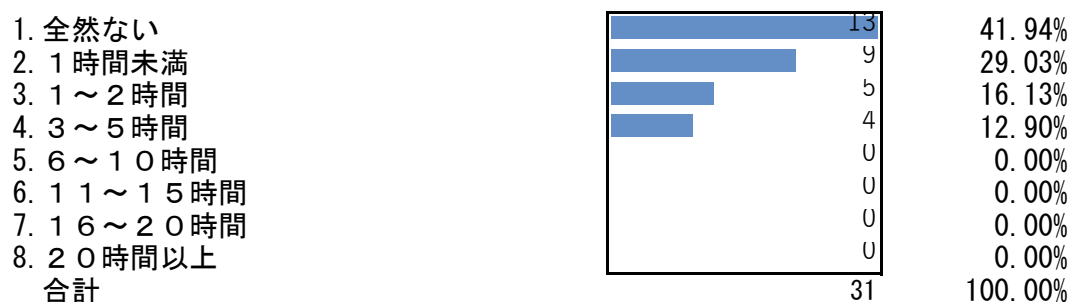
D. 部活動や同好会に参加する



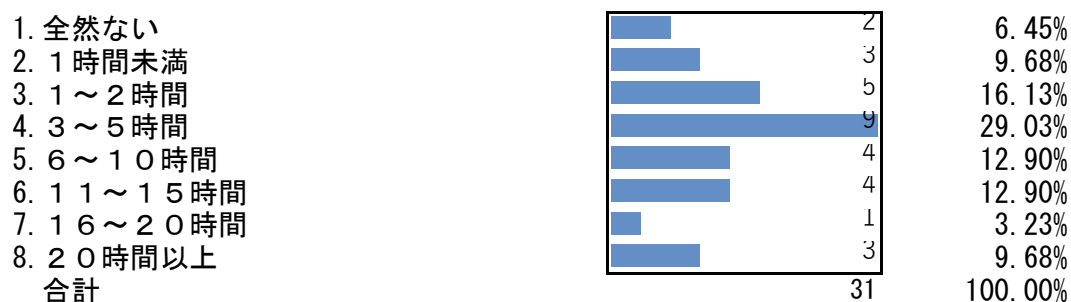
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



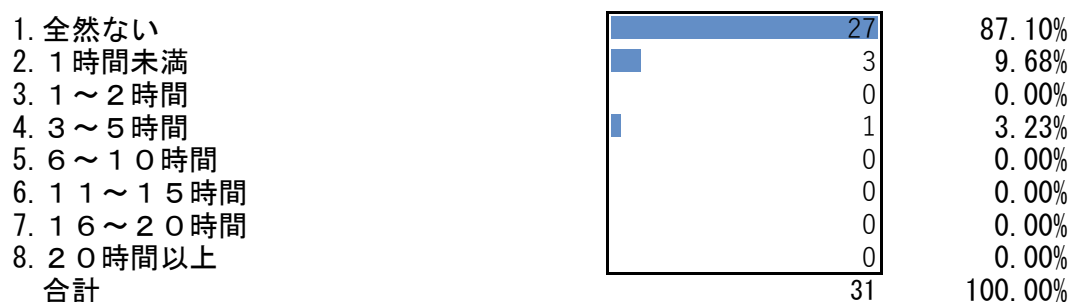
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



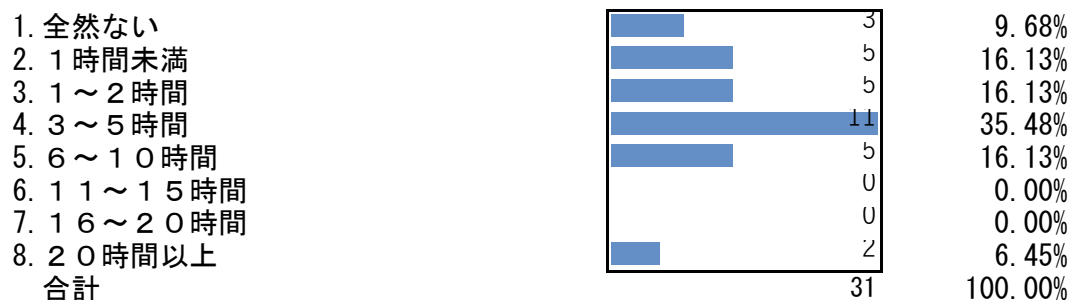
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

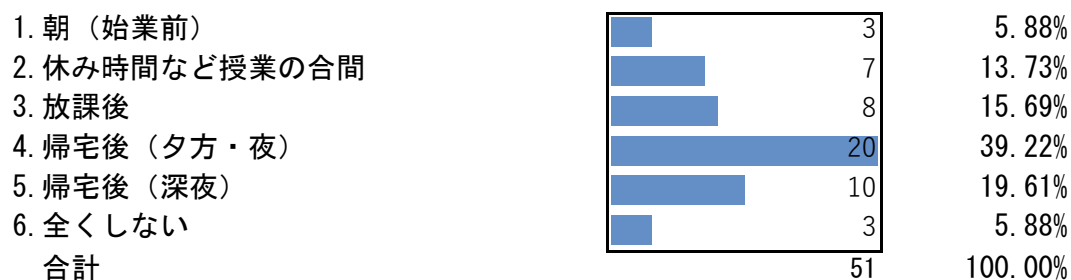


I. メール、Facebook、LINE等の利用



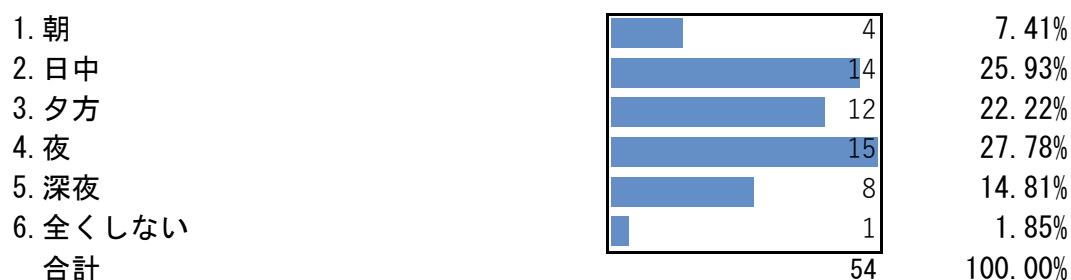
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

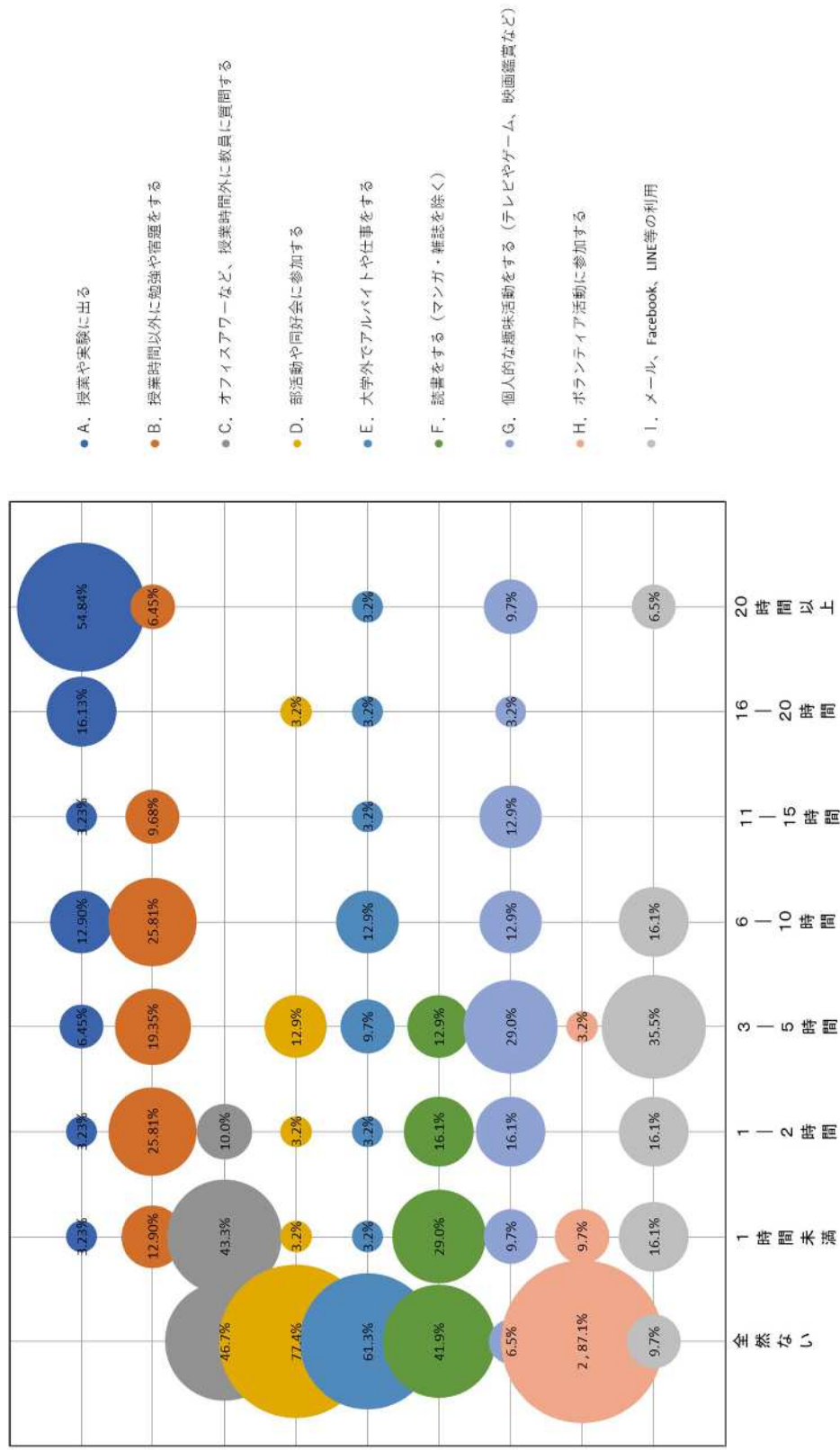


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



2020 年度学修行動調査 健康医療科学部 理学療法学科考察

理学療法学科 小林大介

「学修行動調査」における理学療法学科の回答率について、2019 年度は 31.6%であったが、2020 年度は 95.6% (66 名/69 名)と大幅に上昇した。2020 年度は、大学全体で新型コロナウイルスの感染対策として、Web による遠隔授業が GW 明けから実施され、科目によっては後期にかけても実施された。そのような時期においても理学療法学科は、回答率が上昇を示し、学科全体の回答を比較的反映していると考えられるが、経年変化についても 2019 年度と比較しながら考察する。

2. 大学における学習状況についての考察

(1)あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

「あまりなかった」あるいは「まったくなかった」と回答した割合(合計値)が 2019 年度と比較し、10%以上増加した質問項目は下記となった。

D:授業の一環でボランティア活動をする、**E:**学生自身が文献や資料を調べる、**H:**学生が自分の考えや研究を発表する、**I:**授業中に学生同士が議論する、**N:**SA・TA(上級生や大学院生の授業補助者)から補助を受ける

【考察】質問項目 D や N については、遠隔授業の影響で学生同士や社会参加活動場面等対面での接触機会が減ったことが影響したと考えられ、やむを得ない部分であると推察された。H、I、N については、遠隔授業の進め方で改善できる可能性があると考えられ、新型コロナウイルスによる影響が長期間に渡ることで、教育・学習アプローチが Web による授業の比率が新型コロナウイルス 感染拡大前よりも増えていくことが予想されるため、教育方法についても検討していく必要があると考えられる。

一方で、「ひんぱんにあった」または「ときどきあった」と回答した割合(合計値)が 2019 年度と比較し、10%以上増加した質問項目は下記となった。

G:教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する。

【考察】G の質問項目については、遠隔授業が中心となっても、教員より課題に対する添削やコメントを頻繁に返すことで、将来的な学生の学びの質保証に繋がると思われ、今後も継続していくことが必要と考えられる。

(2)あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

「あまりなかった」あるいは「まったくなかった」と回答した割合(合計値)が 2019 年度と比較し、10%以上増加した質問項目は下記となった。

A:授業課題のために図書館の資料を利用した、**M:**大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

【考察】質問項目 A、M については、学内および構内での活動が制限されるなかで、やむを得ない部分であると推察されたが、進路または生活相談を教員側から Web を使用して学生に働きかけることにより、改善していくことは可能と推察されるため、今後、教員個々が検討していく必要があると

考えられる。

一方で、「ひんぱんにあった」または「ときどきあった」と回答した割合(合計値)が 2019 年度と比較し、10%以上増加した質問項目は下記となった。

I:授業をつまらなく感じた、**K:**教員の研究プロジェクトに参加した

【考察】質問項目 I については、遠隔授業のやり方についての内容とは言いにくく、結論づけることはできないが、リアルタイムで Web 授業をする(Teams)やり方とオンデマンドで講義動画等を配信し、後に提出物を課す(manab@)やり方の違いにより、昨年度より授業がつまらなく感じる割合が増加した可能性がある。しかし、リアルタイム型、オンデマンド型どちらのやり方であっても講義内容を充実し、学生が魅力的に感じる授業設計・展開は重要であり、教員個々が検討していく必要があると考えられる。

(3)入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか

「全然ない」あるいは「一時間未満」と回答した割合(合計値)が 2019 年度と比較し、10%以上増加した質問項目は下記となった。

A:授業や実験に出る、**C:**オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する、**D:**部活動や同好会に参加する、**F:**読書をする(マンガ・雑誌を除く)、**H:**ボランティア活動に参加する

【考察】質問項目 A、C、D、H に関しては、学内および構内、また社会活動等での活動が制限されるなかで、やむを得ない部分であると推察されたが、C の項目に関しては、今後教員個々が Web の使用や学内で声かけするなど学生に働きかけ、質問しやすい状況・環境設定を検討していく必要があると考えられる。質問項目 F については、新型コロナウイルスによる日常生活や学習環境の変化の中で、インターネットを利用した情報収集や娯楽活動を多用している結果、読書を「全然ない」あるいは「一時間未満」の割合が増加したと推察された。コロナ渦に関係なく、読書や新聞の必要性を含め、一般教養や知識を身に付け、医療従事者としての人間性や資質を高めていくことは重要であり、「全然ない」あるいは「一時間未満」の割合を減らせるような指導や関わりが必要であると考えられる。

(4)入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

「大きく増えた」あるいは「増えた」と回答した割合(合計値)が 2019 年度と比較し、10%以上低下した質問項目は下記となった。

A:「一般的な教養」、**B:**分析力や問題解決能力、**H:**他の人と協力して物事を遂行する能力、**J:**地域社会が直面する問題を理解する能力、**O:**プレゼンテーションの能力、**T:**卒業後に就職するための準備の程度

【考察】質問項目 A、B、J、T に関しては、知識が増えたと感じる学生の割合が 2019 年度と比較し、減っている可能性が示された。2020 年度は遠隔授業の割合が多くなったが、Web を使用しても学生が学びの成果を得るためには、教員個々が Web における授業内容を精査し、検討していく必要があると考えられる。質問 H、O に関しては、学生同士の接触機会が減ったことが影響と考えられ、

やむを得ない部分であると推察されたが、Web 上でのグループワーク方式などのやり方も確立してきているので、Web 上での学生同士の関わり方や助言が必要であると考えられる。

2. 大学における学習状況について（理学療法学科）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした



N. 教員に親近感を感じた

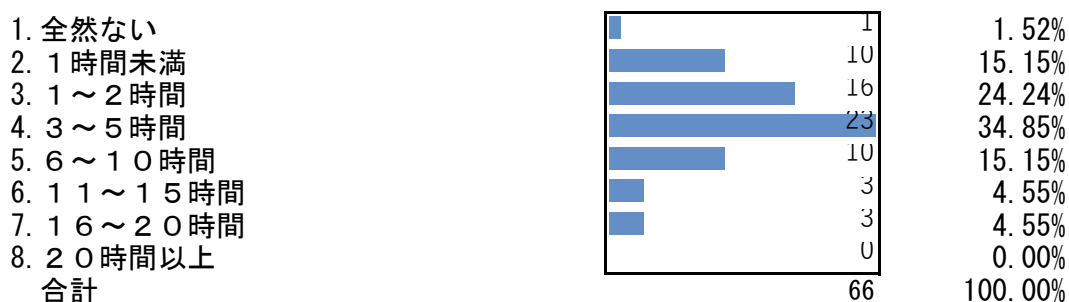


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

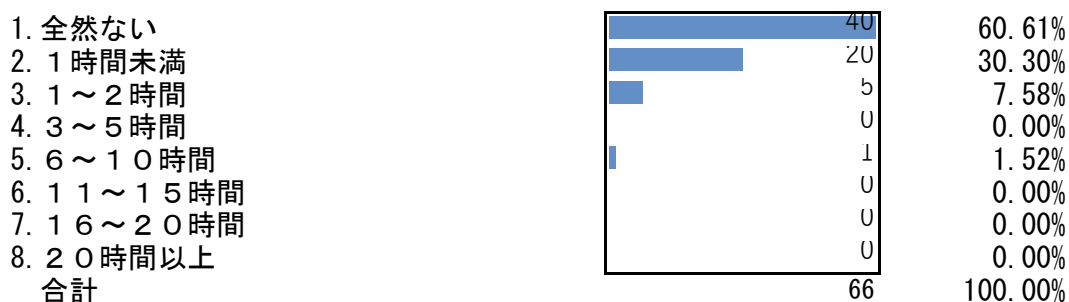
A. 授業や実験に出る



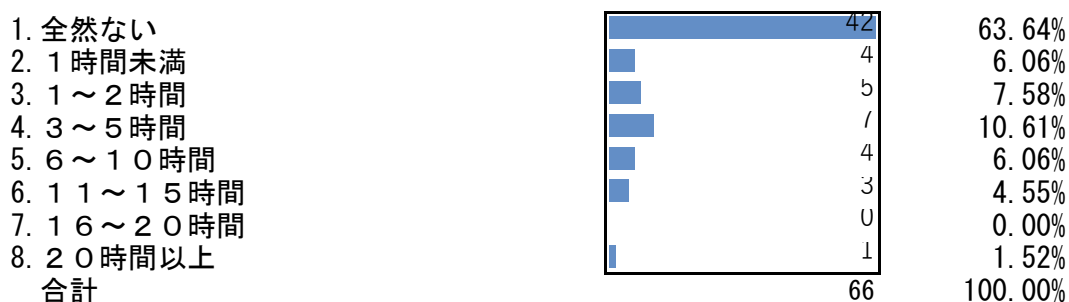
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



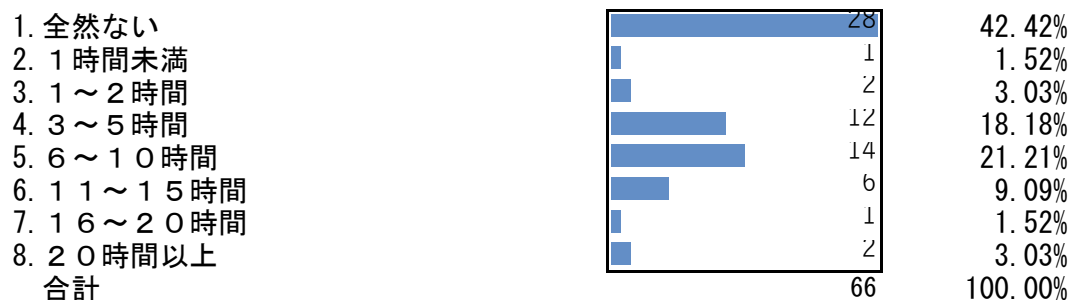
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



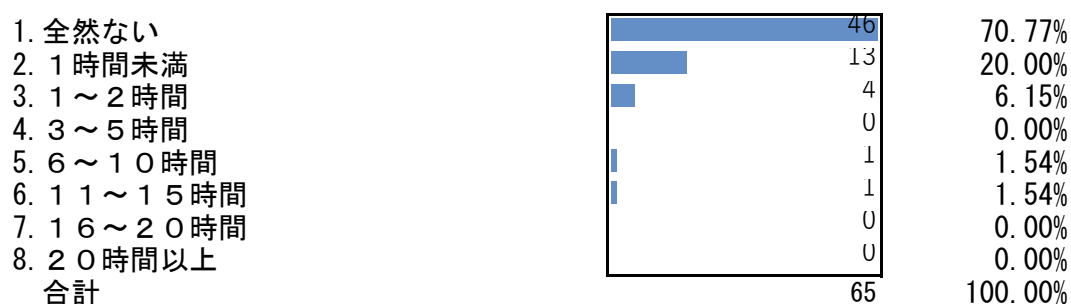
D. 部活動や同好会に参加する



E. 大学外でアルバイトや仕事をする



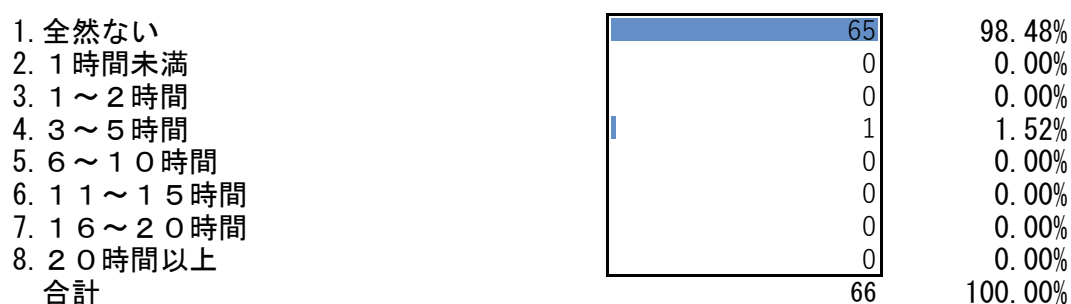
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



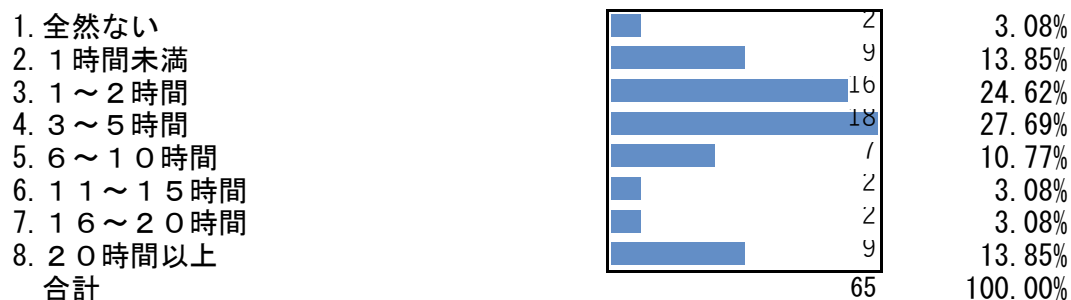
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

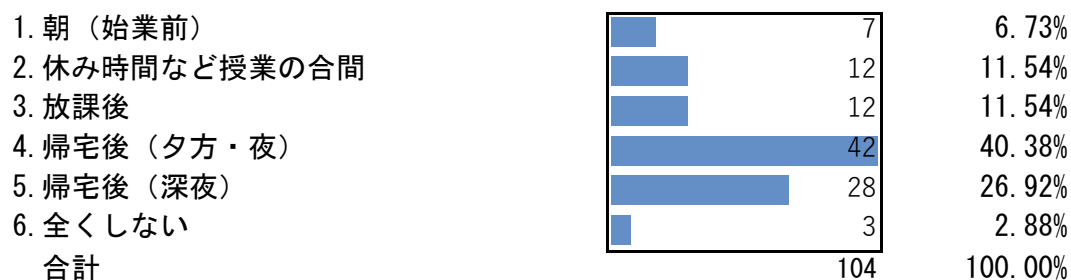


I. メール、Facebook、LINE等の利用



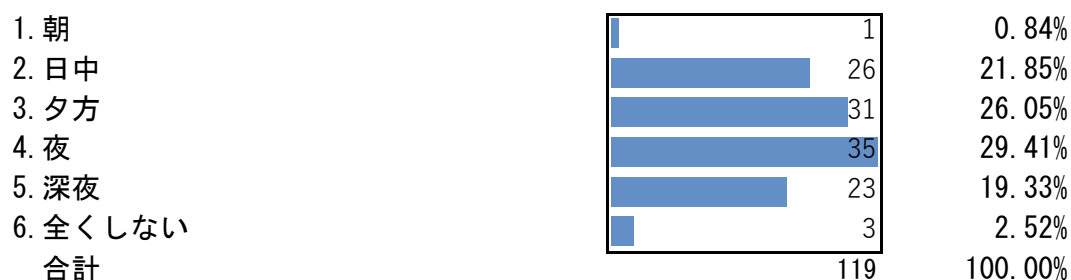
J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

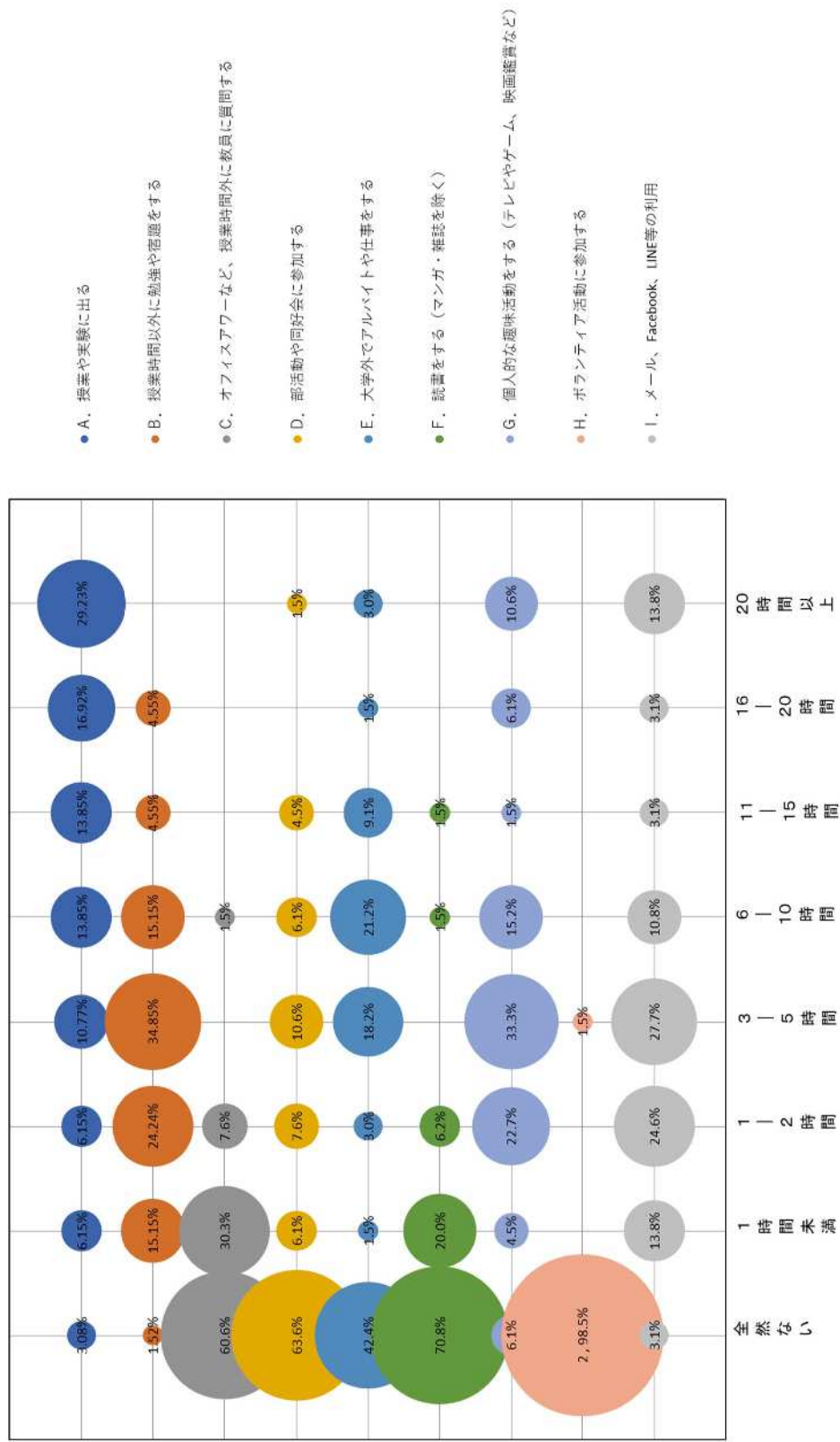


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力

1. 大きく増えた	0	0.00%
2. 増えた	20	30.30%
3. 変化なし	39	59.09%
4. 減った	5	7.58%
5. 大きく減った	2	3.03%
合計	66	100.00%

N. コミュニケーションの能力

1. 大きく増えた	9	13.64%
2. 増えた	37	56.06%
3. 変化なし	18	27.27%
4. 減った	1	1.52%
5. 大きく減った	1	1.52%
合計	66	100.00%

O. プレゼンテーションの能力

1. 大きく増えた	2	3.03%
2. 増えた	15	22.73%
3. 変化なし	47	71.21%
4. 減った	1	1.52%
5. 大きく減った	1	1.52%
合計	66	100.00%

P. 数理的な能力

1. 大きく増えた	1	1.52%
2. 増えた	15	22.73%
3. 変化なし	47	71.21%
4. 減った	3	4.55%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	66	100.00%

Q. コンピュータの操作能力

1. 大きく増えた	12	18.46%
2. 増えた	39	60.00%
3. 変化なし	14	21.54%
4. 減った	0	0.00%
5. 大きく減った	0	0.00%
合計	65	100.00%

R. 時間を有効に利用する能力

1. 大きく増えた	6	9.09%
2. 増えた	39	59.09%
3. 変化なし	18	27.27%
4. 減った	2	3.03%
5. 大きく減った	1	1.52%
合計	66	100.00%

S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



心理学部の考察

教養学部・心理学部カリキュラム委員会 IR 班

はじめに

心理学部開設年度である今回の調査対象となったのは、1年生のみである。想定される回答者 34 名の内、全項目について回答を行っているのは 23 名（24 名の回答者の内 1 名は途中離脱）であり、回答率は 7 割弱である。したがって、今回のデータは心理学部 1 年生の全体的な特徴を表していると考えることができる。回答をしていない 3 割強の学生に何らかの共通した特徴がみられるのかについては、今後の検討課題としたい。以降、項目ごとの度数分布に従って考察を加える。結果の解釈に当たっては、教養学部と同様の視点をを用いた。

(1) 受講した授業での経験について

5 つの項目で全学部の値を下回っているが、これは、学問上の特質に加えて、回答者が 1 年生のみであることによるものと考えられる。頻繁に病院等での実習を行っている他学部と違い、心理学部 1 年生には実習の機会は少ない。しかしながら、初年次教育科目である「フレッシューズセミナー」では体験的な学びを重視し、アクティブラーニング形式を多くの授業で導入していることもあり、「体験的に学ぶ」ことが「まったくなかった」と答えた学生は 2 名のみであった。また、職業に直結した知識やスキルを学ぶ機会は、相対的には少ない。ただし、「日常生活の関わりについての説明」については、9 割を超える回答が「あった」としており、「まったくなかった」と答えた学生はいなかった。社会や日常といったことを意識させるような教育内容となっていることが考えられる。また、定期的な小テストやレポートにより、きめ細やかに学習状況を把握している様子がうかがえる（肯定率 100%）。さらに、学生自身が文献や資料を調べる機会や、学生が自分の考えや研究を発表する機会は、全学部より多い。また、提出物は添削やコメントがつけられて返却され、授業の進め方に学生の意見が取り入れられたとの回答も全学部より多く、過半数を超える。これらの点から、学生の意見が尊重される学習環境にあることがわかる。学生同士が議論する機会や検討するテーマを学生が設定することは少ないが、SA からの補助を受ける比率も高いことから、教員から提示された課題について、グループでの議論を SA の補助も受けながら行っているものと考えられる。「取りたい授業を履修登録できなかった」学生の割合は低く、「心理学を学ぶ」という目的に合致したカリキュラムになっていると考えられる。

(2) 授業や授業以外の学習について

多くの項目で、全学部の値を下回っていた。「授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした」については、全学部の値は 8 割半ばであるのに対して、6 割半ばである。試験に向けて一緒に勉強することがあまりないのかもしれない。この結果は、他学部と比較しての定期テストの少なさに起因すると考えることができる。資料収集に図書館を利用することも少なく、授業課題のためにインターネット上の情報を利用す

ることも、全学部に比べると少ない（ただし、9割近くの学生が利用している）。課題提出にインターネットを使うと答えた学生は100%であり、全学部よりも相対的に多い。学年を経て、適切に資料収集できるよう教育していく必要がある。授業の欠席は相対的には高いが、遅刻はなく（0%）、授業中の居眠りも少ない。授業内容をつまらなく感じている学生が過半数を超えたが、全学部と比べると少ない。教員の考え方や意見に異議を唱えた者も皆無で、ここでも、「心理学を学ぶ」という目的に合致したカリキュラムになっていることが示唆される。キャリアの相談をする学生は全体の25%ではあるが、全学部に比べて多い。1年生の段階では、相談の内容が将来のキャリア以上に、現在の大学生活に偏ることが考えられる。教員に親近感を感じている割合は、7割を超えており（全学部では5割半ば）、チューターを中心としながら、学生にきめ細やかに対応していることを反映した結果である。さらに、自主的な勉強会に参加する機会も相対的に多く、1年生の内から2割程度の学生が研究プロジェクトに参加している。今後、教員と学生とが、研究を通じて交流を深めていくことによる「体験的な学び」の可能性を示す結果であると考えられる。

（3）活動についての時間配分について

授業や実験への参加は全学部に比べて、少ない側によっている。また、勉強や宿題をする時間も全学部に比べると少ない。しかし、それぞれ「全然ない」と答えている学生は皆無であり、今後学年進行に伴って、課題の内容が高度化するのに伴い、時間も増加する可能性がある。全学部に比べてボランティア活動に費やす時間が多いことは、1年生の段階で、社会的な接点をもっていることをうかがわせる。SNS利用については、全学部では1—2時間が最頻値であったが、心理学部では、3—5時間という全学部より多めの時間と1時間未満に同程度集まっており、インターネットを使う学生たちと使わない学生たちに二極化していることも考えられる。

（4）能力や知識についての入学した時点との変化

多くの項目で全学部の値を下回った。1年生の段階（調査時期は年度半ば）では、入学時からの変化は実感できていなかったものと考えられる。また、「コミュニケーション」、「リーダーシップ」、「異文化の人々と協力する」といった人間関係に関わる能力については、遠隔授業が続いていたため、対人接触の機会が少なかったことも影響しているものと考えられる。

それでも、「一般的な教養」、「分析力や問題解決能力」、「専門分野や学科の知識」の3項目については全学部での数値を上回り、「増えた」と回答する学生が8割を超えている。また、「文章表現の能力」（65%程度）、「コンピュータの操作能力」（74%程度）も全学部の数値を上回っている。リテラシー科目の成果をうかがわせる。加えて、割合自体は小さいが、「異文化の人々に関する知識」や「外国語の運用能力」についても全学部の数値を上回っていた。語学教育やそれに関連した教育内容をフレッシュャーズセミナー内に組み込んだ成果であると考えられる。今後も、専門分野の知識だけにとどまらず、高等教育に相応しい、幅広い教養の提供に努めたい。

2. 大学における学習状況について（心理学部）

（１）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

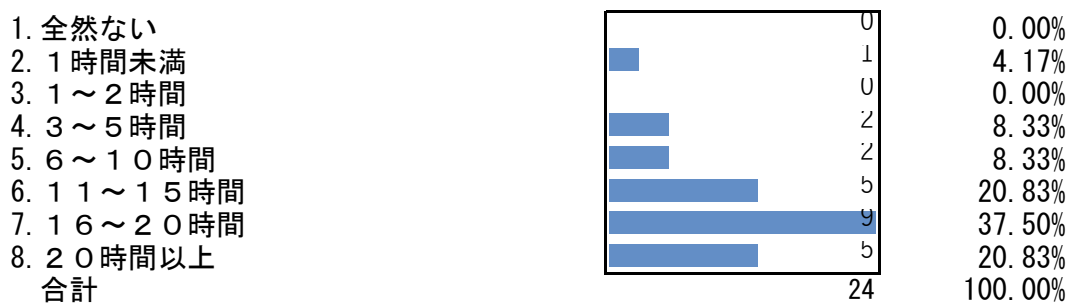


N. 教員に親近感を感じた

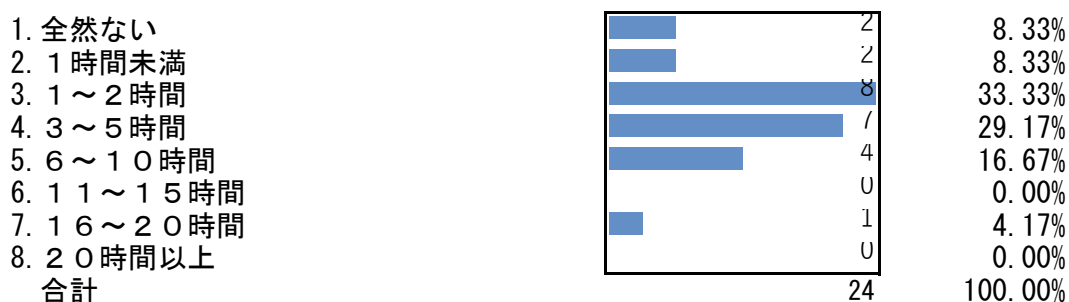


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

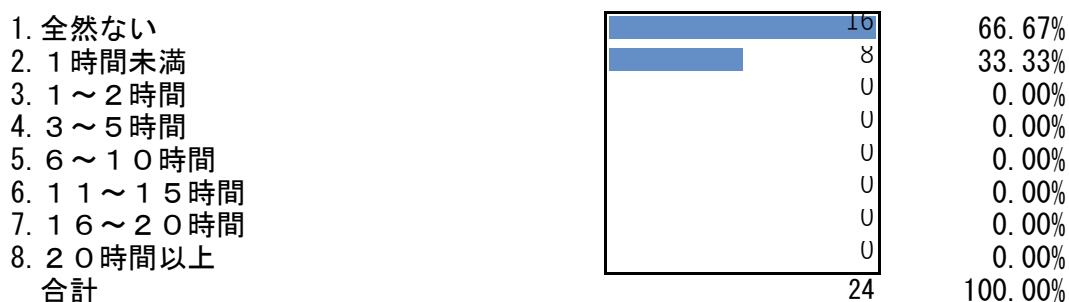
A. 授業や実験に出る



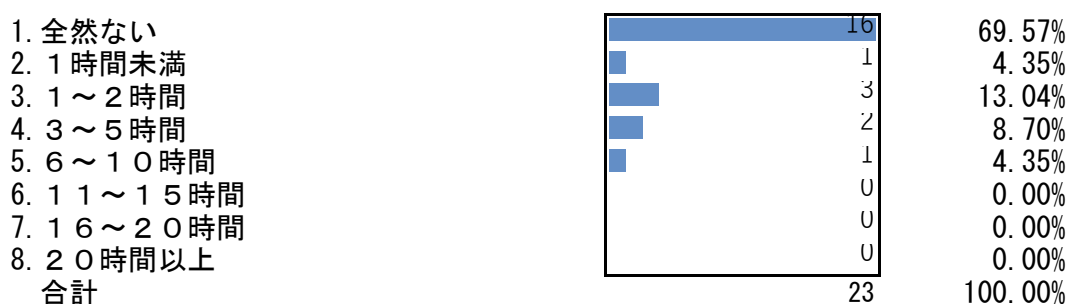
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



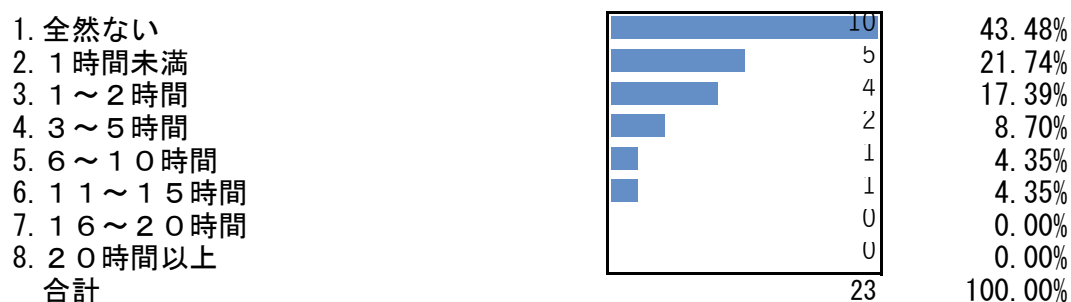
D. 部活動や同好会に参加する



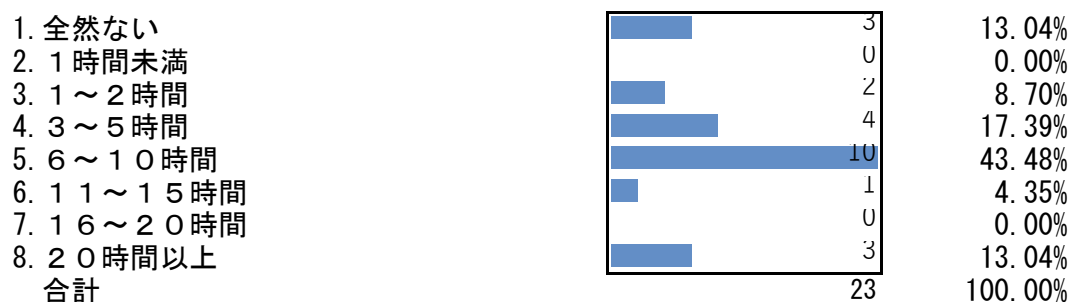
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



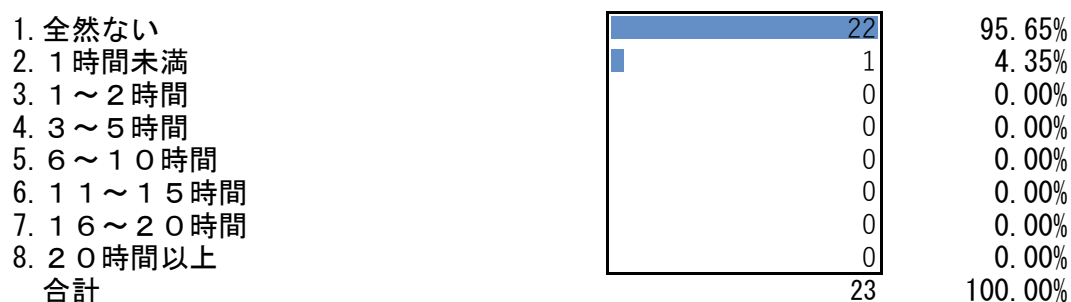
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



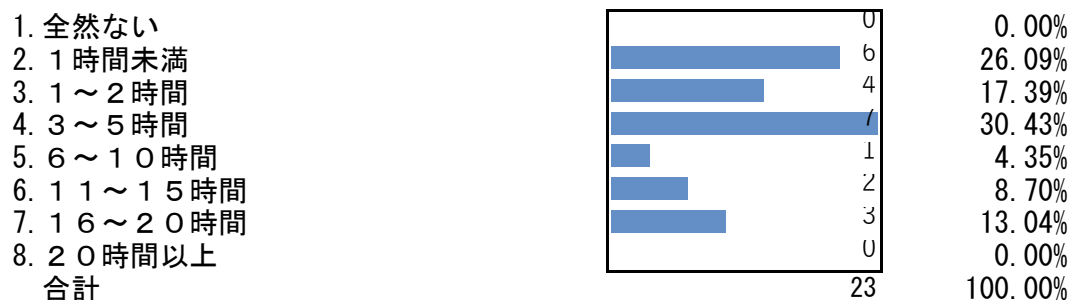
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



H. ボランティア活動に参加する

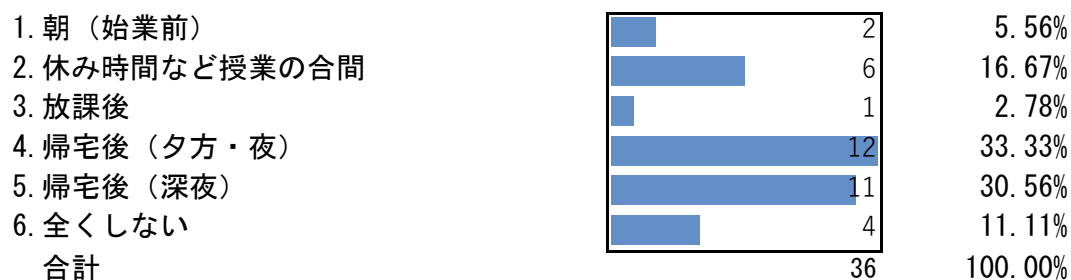


I. メール、Facebook、LINE等の利用



J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）

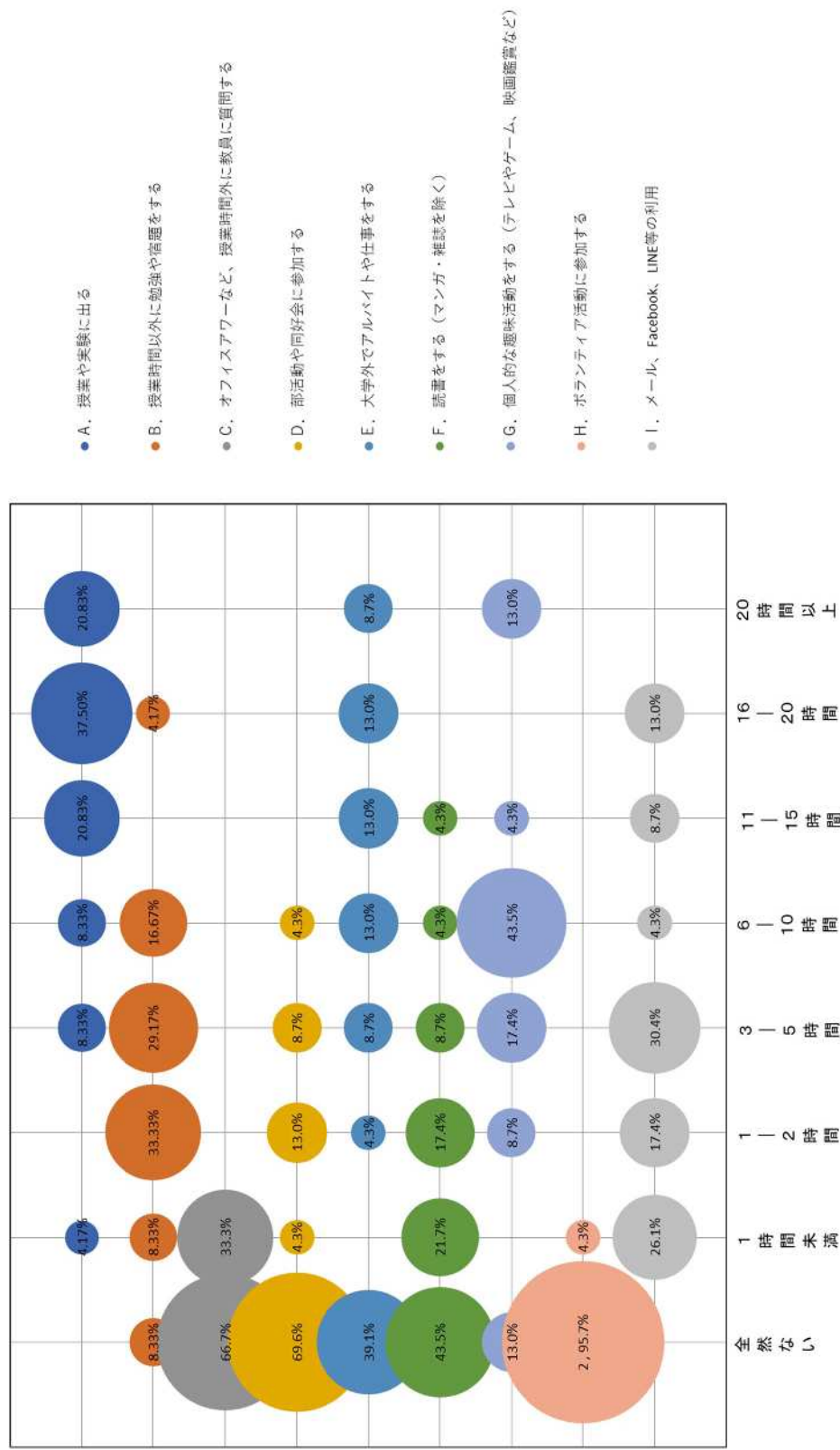


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯

（あてはまるものをすべて選んでください。）



2020（3）入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



付 録

1. 大学に入学する前や高校時代のことについて （全学部：1年生のみ）

(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。

第1志望だった	123	58%
第1志望ではなかった	88	42%
合計	211	100%

(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。

現役	196	93%
浪人	7	3%
その他（留学生、社会人など）	8	4%
合計	211	100%

(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。

上位の方	32	15%
中の上くらい	61	29%
中くらい	62	29%
中の下くらい	25	12%
下位の方	26	12%
その他（わからない、覚えていないなど）	5	2%
合計	211	100%

(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした

ひんばんにした	18	9%
ときどきした	67	32%
あまりしなかった	77	36%
まったくしなかった	49	23%
合計	211	100%

B. 自分の意見を論理的に主張した

ひんばんにした	18	9%
ときどきした	77	36%
あまりしなかった	77	36%
まったくしなかった	39	18%
合計	211	100%

C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて （薬学部：1年生のみ）

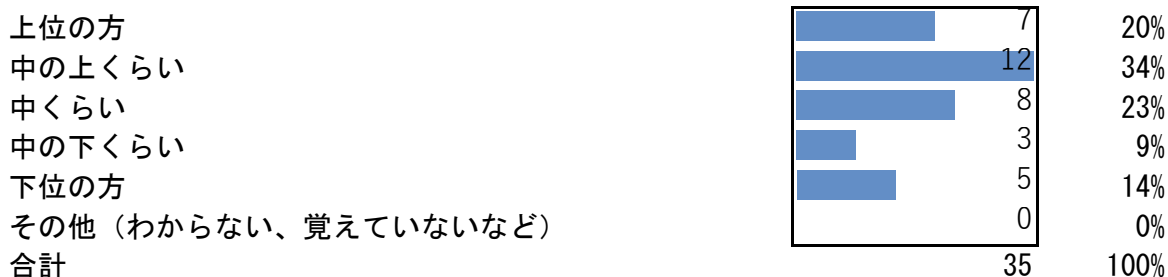
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて （看護学部：1年生のみ）

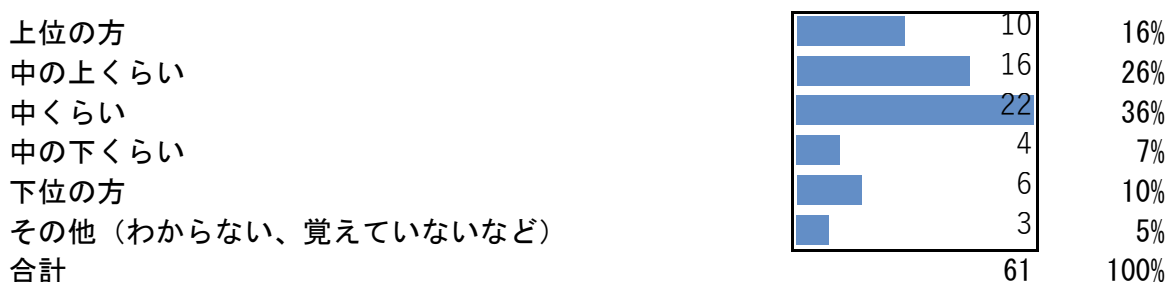
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて （健康医療科学部：1年生のみ）

(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。

第1志望だった	59	63%
第1志望ではなかった	34	37%
合計	93	100%

(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。

現役	89	96%
浪人	1	1%
その他（留学生、社会人など）	3	3%
合計	93	100%

(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。

上位の方	12	13%
中の上くらい	29	31%
中くらい	27	29%
中の下くらい	16	17%
下位の方	9	10%
その他（わからない、覚えていないなど）	0	0%
合計	93	100%

(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした

ひんぱんにした	5	5%
ときどきした	31	33%
あまりしなかった	35	38%
まったくしなかった	22	24%
合計	93	100%

B. 自分の意見を論理的に主張した

ひんぱんにした	4	4%
ときどきした	34	37%
あまりしなかった	36	39%
まったくしなかった	19	20%
合計	93	100%

C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて（作業療法学科：1年生のみ）

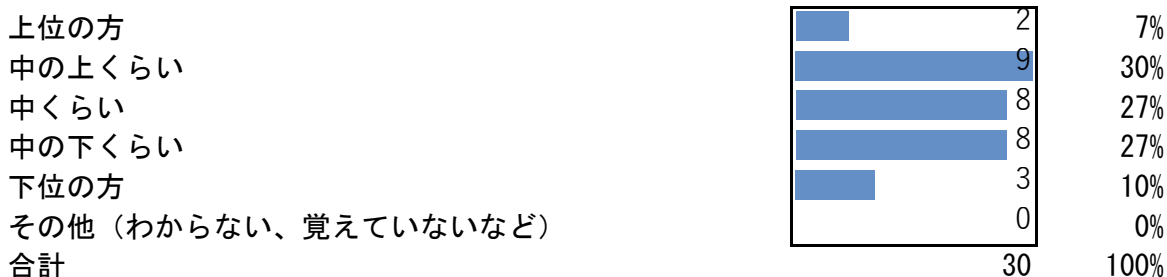
（1）あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



（2）あなたは現役で本学に入学しましたか。



（3）あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



（4）あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて（理学療法学科：1年生のみ）

（1）あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。

第1志望だった	41	65%
第1志望ではなかった	22	35%
合計	63	100%

（2）あなたは現役で本学に入学しましたか。

現役	62	98%
浪人	1	2%
その他（留学生、社会人など）	0	0%
合計	63	100%

（3）あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。

上位の方	10	16%
中の上くらい	20	32%
中くらい	19	30%
中の下くらい	8	13%
下位の方	6	10%
その他（わからない、覚えていないなど）	0	0%
合計	63	100%

（4）あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした

ひんぱんにした	2	3%
ときどきした	23	37%
あまりしなかった	21	33%
まったくしなかった	17	27%
合計	63	100%

B. 自分の意見を論理的に主張した

ひんぱんにした	3	5%
ときどきした	24	38%
あまりしなかった	20	32%
まったくしなかった	16	25%
合計	63	100%

C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



1. 大学に入学する前や高校時代のことについて （心理学部：1年生のみ）

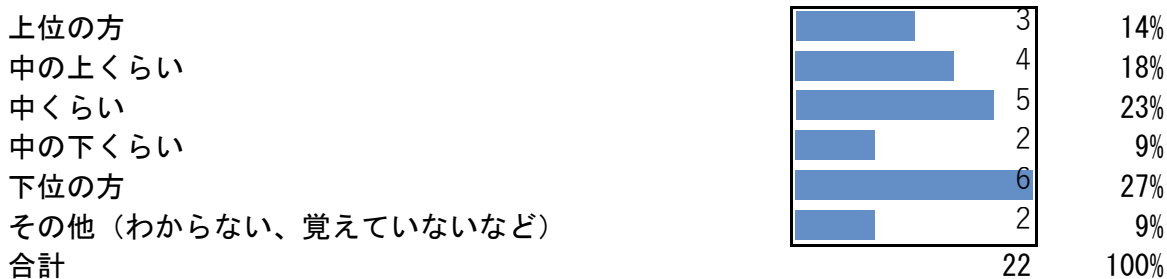
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



まったくしなかった	1	5%
合計	22	100%

I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した

ひんぱんにした	1	5%
ときどきした	9	41%
あまりしなかった	6	27%
まったくしなかった	6	27%
合計	22	100%

J. 自分の失敗から学んだ

ひんぱんにした	13	59%
ときどきした	8	36%
あまりしなかった	1	5%
まったくしなかった	0	0%
合計	22	100%

K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた

ひんぱんにした	4	18%
ときどきした	8	36%
あまりしなかった	5	23%
まったくしなかった	5	23%
合計	22	100%